

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

FINEPIX

XP140 シリーズ

使用説明書

BL00005004-104

JA

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるように大切に保管してください。

最新情報について

本製品の最新の使用説明書はこちらをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>



上記サイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。ソフトウェアのライセンスに関する情報も記載しています。



本製品のファームウェア更新情報はこちらをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/>



章目次


メニュー一覧	iv
1 このカメラの概要	1
2 撮影の準備	11
3 基本的な撮影と再生	25
4 動画の撮影と再生	29
5 撮影に関する設定	34
6 撮影メニュー	57
7 画像の再生と再生メニュー	71
8 セットアップメニュー	90
9 ショートカット機能	102
10 オプション品の使い方	104
11 他機器との接続	105
12 資料	115

メニュー一覧

このカメラで使用できるメニューの一覧です。

撮影メニュー

撮影時に使用できるメニューです。


 設定方法の詳細は撮影メニューをご覧ください (p.57)。









撮影メニュー	
 撮影モード	57
 フォーカス設定	57
 レリーズ操作	60
 ISO 感度	60
 画像サイズ	61
 画質モード	62
 FINEPIX カラー	62

撮影メニュー	
 セルフタイマー	62
 インターバルタイマー撮影	63
 タイムラプス動画モード	64
 WB ホワイトバランス	65
 フラッシュ設定	65
 動画設定	66
 ブレ防止モード	68
 電子式手ブレ補正	68
 Wi-Fi ワイヤレス通信	69
 超解像ズーム	70

再生メニュー

再生時に使用できるメニューです。


 詳細は再生メニューをご覧ください (p.75)。

再生メニュー		
	画像転送予約	75
	ワイヤレス通信	76
	ピクチャーサーチ	77
	消去	78
	動画加工	80
	トリミング	82
	リサイズ	82



再生メニュー		
	プロテクト	83
	画像回転	83
	赤目補正	84
	スライドショー	84
	フォトブックアシスト	85
	PC 保存	86
	画像コピー	87
	プリント予約 (DPOF)	88
	instax プリンタープリント	89
	表示比率	89

セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などを変更するメニューです。

 設定方法の詳細はセットアップメニューをご覧ください (p.90)。

セットアップ		
	日時設定	90
	世界時計	90
	言語/LANG.	91
	リセット	91
	電子音 & フラッシュ	91
	音設定	92
	表示設定	93

セットアップ		
	ファンクション (Fn) 設定	95
	消費電力設定	95
	保存設定	96
	接続設定	98
	フォーマット	101











目次

はじめに	ii
最新情報について	ii
章目次	iii
メニュー一覧	iv
撮影メニュー	iv
再生メニュー	v
セットアップメニュー	v
目次	vi
付属品一覧	xiv
このカメラの特徴と使用上のご注意	xv
本書について	xix
本書で使われている記号について	xix
画面のイラストや写真について	xix
表記について	xix

1 このカメラの概要 1















カメラの各部名称と機能	1
セレクターボタン	3
連写切替ボタン	4
撮影時の表示画面	5
LCD の表示画面	5
LCD の明るさ・鮮やかさ調整	7
情報表示の切り替え	7
「スタンダード」画面の表示について	8
メニューの使い方	10




2	撮影の準備	11
	ストラップを取り付ける.....	11
	バッテリーとメモリーカードを入れる.....	12
	使用可能なメモリーカード.....	15
	バッテリーを充電する.....	16
	電源をオンにする / オフにする.....	19
	バッテリー残量の表示.....	20
	初期設定を行う.....	21
	言語を変更する.....	23
	日時を変更する.....	23
3	基本的な撮影と再生	25
	静止画を撮影する.....	25
	静止画を再生する.....	27
	画像を消去する.....	28
4	動画の撮影と再生	29
	動画を撮影する.....	29
	動画の設定について.....	31
	動画を再生する.....	32
5	撮影に関する設定	34
	撮影モードを変更.....	34
	撮影モード一覧.....	35
	 アドバンスド SR オート.....	36
	 多重露出.....	37

 アドバンストフィルター.....	38
 パノラマ.....	40
 花火.....	43
 CALS CALS.....	43
露出補正	44
連続撮影（連写）	45
 連写（高速 / 中速 / 低速）.....	46
 4K 連写.....	46
HDR 撮影	48
フォーカスモード	49
フォーカスモードの設定方法.....	49
フォーカスモードの種類.....	49
AE/AF ロック撮影	50
フラッシュ撮影	51
ホワイトバランス	52
セルフタイマー	53
2 秒後撮影 / 10 秒後撮影.....	54
フェイスオートシャッター.....	54
スマイル撮影.....	55
カップルタイマー撮影.....	55
グループタイマー撮影.....	56


















6 撮影メニュー




57

撮影メニュー ( 1 /  2 /  3)	57
 撮影モード	57
 フォーカス設定	57
フォーカスモード	57
顔検出 / 瞳 AF 設定	58
AF 補助光	59
 レリーズ操作	60
ISO 感度	60
 画像サイズ	61
 画質モード	62
 FINEPIX カラー	62
 セルフタイマー	62
 インターバルタイマー撮影	63
 タイムラプス動画モード	64
WB ホワイトバランス	65
 フラッシュ設定	65
フラッシュモード	65
フラッシュ調光補正	65
赤目補正	65
 動画設定	66
動画モード	66
HD ハイスピード動画	67
フォーカスモード	67
風音低減	67












 ブレ防止モード	68
 電子式手ブレ補正	68
 ワイヤレス通信	69
 超解像ズーム	70

7 画像の再生と再生メニュー **71**

再生時の表示画面	71
情報表示の切り替え	72
再生方法	73
再生ズーム	74
マルチ再生	74
再生メニュー ( /  / )	75
 画像転送予約	75
 ワイヤレス通信	76
 ピクチャーサーチ	77
 消去	78
 動画加工	80
 トリミング	82
 リサイズ	82
 プロテクト	83
 画像回転	83
 赤目補正	84
 スライドショー	84
 フォトブックアシスト	85
 PC 保存	86
 画像コピー	87

 プリント予約 (DPOF).....	88
 instax プリンタープリント.....	89
 表示比率.....	89

8 セットアップメニュー 90

セットアップメニュー ( / ).....	90
 日時設定.....	90
 世界時計.....	90
 言語/LANG.....	91
 リセット.....	91
 電子音 & フラッシュ.....	91
 音設定.....	92
操作音量.....	92
シャッター音量.....	92
シャッター音.....	92
再生音量.....	92
 表示設定.....	93
撮影画像表示.....	93
LCD 明るさ.....	93
LCD 鮮やかさ.....	93
フレーミングガイド.....	94
縦横自動回転再生.....	94
画面のカスタマイズ.....	94
 ファンクション (Fn) 設定.....	95
 消費電力設定.....	95
自動電源 OFF.....	95
ハイパフォーマンス.....	95

 保存設定.....	96
コマ NO.....	96
日付書き込み.....	97
 接続設定.....	98
Bluetooth 設定.....	98
PC 保存.....	99
instax プリンター接続設定.....	99
共通設定.....	100
情報表示.....	100
ワイヤレス設定初期化.....	100
 フォーマット.....	101

9 ショートカット機能 102

Fn (ファンクション) ボタン.....	102
ファンクションボタンの割り当て変更.....	103

10 オプション品の使い方 104

カメラで使えるアクセサリ.....	104
別売アクセサリ.....	104

11 他機器との接続 105

HDMI 出力.....	105
HDMI 機器との接続.....	105
無線通信で接続 (Bluetooth®/ 無線 LAN (Wi-Fi)).....	107
スマートフォンと通信する (FUJIFILM Camera Remote).....	107
パソコンに画像を保存する (FUJIFILM PC AutoSave).....	109

USB ケーブルでパソコンと接続.....	110
Windows をお使いの方 (MyFinePix Studio)	110
Mac OS X / macOS をお使いの方	110
カメラとパソコンを接続する	111
instax SHARE プリンターと接続.....	113
プリンターとの接続を設定する	113
画像をプリントする	114

12 資料

115

カメラで使えるソフトウェア	115
FUJIFILM Camera Remote	115
FUJIFILM PC AutoSave	115
MyFinePix Studio	115
お取り扱いにご注意ください.....	116
お手入れについて	129
ファームウェア更新情報.....	130
ファームウェアバージョンの確認方法	130
トラブルシューティング /FAQ	131
警告表示	141
標準撮影枚数 / 記録時間	146
主な仕様	147
索引	153
ソフトウェアのお問い合わせ	156
アフターサービスについて	157

付属品一覧

ご使用前に箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-45S (1 個)
- AC パワーアダプター AC-5VG (1 個)
- プラグアダプター (1 個)
仕向け国によって形状が異なります。
- 専用 USB ケーブル (1 本)
- ストラップ (1 本)
- 使用説明書一式
- 保証書 (1 部)

このカメラの特徴と使用上のご注意

防水・防塵・耐衝撃性能について

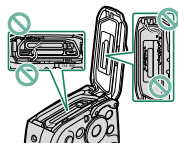
■ 防水 / 防塵機能について

- ① このカメラは JIS 防水保護等級 8 級、JIS 防塵保護等級 6 級 (IP68) 相当の防水・防塵機能を備えています。
- ① このカメラの耐衝撃性は、MIL-Standard 810F Method 516.5-Shock の測定方法に準じた、当社独自の基準（高さ：1.80m、落下面：厚さ 5cm 合板）での落下テストをクリアしています。
 - ※ 当社試験条件によるものであり、すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。
 - ※ このカメラの付属品には防水機能はありません。

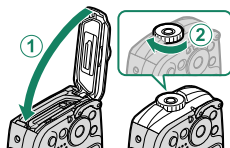
■ 使用前のご注意 / ご確認事項

- 1** 防水パッキンや防水パッキンの当たる面にゴミや砂等の異物がついていないかを確認し、異物が付着している場合は柔らかく乾いた布でふき取ってください。

- ① 防水パッキンに傷や変形があるときは防水パッキンの交換をしてください（防水パッキンの交換は有料です）。そのまま使用すると浸水する可能性があります。詳しくは、お買い上げ店または弊社サービスステーションにご相談ください。



- 2** バッテリーカバーを本体に押し当てながら ① 開閉ダイヤルを「カチッ」と音（感触）がするまで回して ②、確実にロックしてください。



- 3** 必ずバッテリーカバーが確実にロックされていることを確認してください（開閉ダイヤルを逆に回して、バッテリーカバーが開かないことを確認してください）。

- ① このカメラは、レンズ正面に保護ガラスを使用しています。保護ガラスが汚れていると、撮影した画像に影響を与えますので、保護ガラスは常にきれいな状態を保つようしてください。
- ① 必ずバッテリーカバーが確実にロックされていることを確認してください。カメラの内部に、水・泥・砂が入ると故障の原因になります。
- ① 砂・ほこりの多い場所や水辺（海上・湖上・海辺・湖畔等）、および濡れた手でバッテリーカバーの開け閉めはしないでください。浸水故障の原因になります。
- ① バッテリー、メモリーカードの交換やUSB ケーブル、HDMI ケーブルの接続は、カメラが完全に乾いた状態で行ってください。
- ① このカメラは水中で沈みます。必ずストラップを取り付け、使用する際には腕に巻いて落ちないように注意してください。

■ 使用中のご注意 / ご確認事項

- ① 水深 25.0m を超えては使用しないでください。
- ① 水中で 120 分以上使用しないでください。
- ① 内部は防水仕様ではありません。水中では、バッテリーカバーの開け閉めはしないでください。
- ① 温泉 / 温水では使用できません。
- ① 水中に勢いよく飛び込むなど、カメラに強い振動、圧力、衝撃が加わると防水機能が損なわれる原因になります。強い振動・圧力・衝撃が加わった場合は、お買い上げ店または弊社サービスステーションにご相談ください。
- ① 水洗いしてカメラを完全に乾かすまでは、バッテリーカバーを開閉しないでください。
- ① 水中でのご使用後は 60 分以上放置しないでください。
- ① カメラを砂の上に置いたままにすると、カメラの使用温度を超えたり、スピーカーやマイクに砂が詰まったりすることがあります。
- ① 日焼け止めやサンオイルなどが付着すると、カメラの表面が変色することがあります。万一付着したときは、ぬるま湯で洗い流してください。
- ① 付属のストラップは、水濡れや摩擦により色落ちや色移りが発生する場合がありますので、ご注意ください。

■ 使用後のご注意 / ご確認事項

- 1** カメラを海中で使用したときや、砂、泥、ほこりなどがカメラに付着するような場所で使用したときなどは、バッテリーカバーをしっかりと閉めて、水道水を少し流しながら水洗いするか、容器にためた真水の中で10分程度、つけ置き洗いしてください。



- 2** 水洗い後は柔らかく乾いた布で水滴をふき取り、風通しのよい日陰で乾かしてください。
- 3** 乾かした後は、水滴が付いていないことを確認してからバッテリーカバーを開けてください。内側に水滴や砂粒・ゴミが残っていた場合は、柔らかく乾いた布を用いてふき取ってください。
- ① 防水パッキンやパッキンの当たる面にゴミや砂が付いたときは、よく拭き取ってください。そのままにすると、パッキンやパッキンの当たる面に傷がつきます。パッキンの傷やへこみは防水効果を損ないます。
- ① 石けん水・中性洗剤・アルコール・薬品などでの洗浄は、防水効果を損ないますのでしないでください。
- ① 使用後は、カメラについた水滴や汚れを乾いた布できれいに拭き取り、バッテリーカバーをしっかりと閉めて、真水に10分程度入れてください。その後、十分に乾燥させてください。

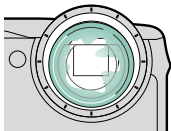
■ 保管・お手入れについて

- ① 高温（40℃以上）や低温（0℃以下）の場所に放置しないでください。
- ② このカメラの防水パッキンの性能は、1年以上経過すると劣化しますので、1年に1度、防水パッキンの交換をおすすめします（防水パッキンの交換は有料です）。詳しくは、お買い上げ店または弊社サービスステーションにご相談ください。

■ レンズの内側が曇るとき（結露）

レンズの内側の曇りは故障や不具合ではありません。使用環境により、発生する場合があります。

高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所で電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けてください。カバーを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませると曇りが取れます。



レンズの内側が曇りやすい条件

- 気温の高い陸上から急に温度の低い水中で使用した場合
- 寒冷地から屋内などの暖かい場所に持ち込んだ場合
- 多湿な環境でバッテリーカバーを開けた場合

■ 寒冷地でのご使用について




使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が一時的に低下し、撮影可能枚数が少なくなります。寒冷地で使用する場合はカメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。

- ① バッテリーは付属の NP-45S をご使用ください。
- ② 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

本書について

この説明書には、富士フィルムデジタルカメラ FinePix XP140 シリーズの使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本書で使われている記号について

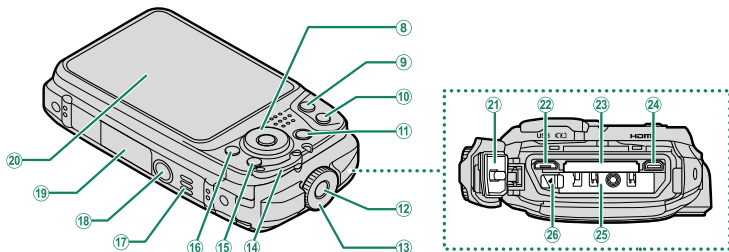
-  カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
-  カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
-  参照ページを記載しています。

画面のイラストや写真について

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

表記について

- このカメラでは、市販のSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを総称して「メモリーカード」と表記します。
- 本書では、液晶モニターを「LCD」と表記する場合があります。



- | | | | |
|----------------------------------|------------|-------------------------|-------|
| ⑧ セレクターボタン | 3 | ⑱ スピーカー | 32、92 |
| ⑨ W (広角ズーム) ボタン | 26、74 | ⑳ 三脚用ねじ穴 | |
| ⑩ T (望遠ズーム) ボタン | 26、74 | ㉑ 銘板プレート | 下記参照 |
| ⑪ ▶ (再生) ボタン | 27 | ㉒ 液晶モニター (LCD) | 5 |
| ⑫ ロック解除ボタン | 12、14 | ㉓ 防水パッキン | xv、13 |
| ⑬ 開閉ダイヤル | 12、14 | ㉔ マイクロ USB 端子 (Micro-B) | 111 |
| ⑭ ストラップ取り付け部 | 11 | ㉕ メモリーカードスロット | 12 |
| ⑮ DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン | 7、72 | ㉖ HDMI マイクロ端子 (Type D) | 105 |
| ⑯ 連写切替ボタン | | ㉗ バッテリー挿入部 | 12 |
| | 4、45、46、48 | ㉘ バッテリー取り外しつまみ | 14 |
| 📶 Wi-Fi ボタン (再生時) | 100 | | |

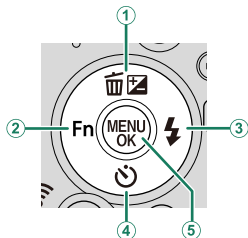
銘板プレートについて

FCC ID、KC マーク、CMIIT ID、シリアル番号などが印刷されていますので、銘板プレートは取り外さないでください。

セレクターボタン

▲▼◀▶（上下左右）ボタンを押してメニューなどの項目を選択したり、機能を使用したりできます。


- ① 上に移動（▲）
 ☒（露出補正）ボタン44
 ☒（消去）ボタン28
- ② 左に移動（◀）
 Fn（ファンクション）ボタン 102
- ③ 右に移動（▶）
 ⚡（フラッシュ）ボタン51、102
- ④ 下に移動（▼）
 ⌚（セルフタイマー）ボタン53、102
- ⑤ MENU（メニュー）/OK ボタン10、57、75、90

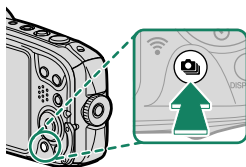


ファンクションボタン

- このカメラでは、⚡（フラッシュ）ボタンと ⌚（セルフタイマー）ボタンも Fn（ファンクション）ボタンと同じようにファンクションボタンとして使用できます。撮影中に◀▶▼を長押しすると、それぞれのボタンに割り当てられている機能を切り替えることができます。
- ファンクションボタンに割り当てる機能は、セットアップメニューの **Fn** ファンクション（Fn）設定で変更できます（☞ 95、103）。
- 機能の割り当ては、ファンクションボタンまたは DISP/BACK ボタンを長押ししても変更できません。

連写切替ボタン

連写切替ボタン（）を押すと、連写 /1 コマ撮影の切り替えができます。



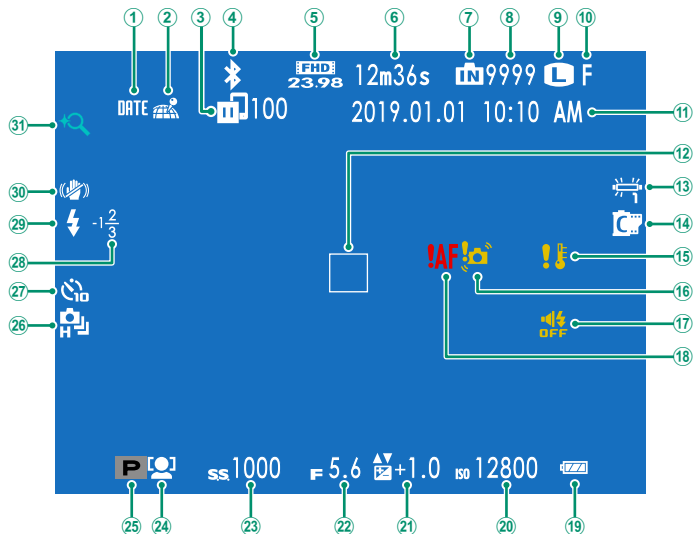
設定		📖	設定		📖
	1 コマ撮影	25		4K 連写	46
	連写	46		HDR	48

撮影時の表示画面



撮影時は、液晶モニター（LCD）に次の情報が表示されます。

❗ 説明のため情報はすべて表示しています。

LCD の表示画面




① 日付書き込み.....	97	⑱ 電子音 & フラッシュ.....	91
② 位置情報取得状態.....	100	⑲ AF 警告.....	26
③ 画像転送状況.....	75	⑳ バッテリー残量表示.....	20
④ Bluetooth ON/OFF.....	98	㉑ 感度.....	60
⑤ 動画モード.....	29、66	㉒ 露出補正.....	44
⑥ 動画撮影の残り時間.....	29	㉓ 絞り値	
⑦ 内蔵メモリー ^{*1}		㉔ シャッタースピード	
⑧ 撮影可能枚数 ^{*2}	146	㉕ 顔検出 / 瞳 AF 設定.....	58
⑨ 画像サイズ.....	61	㉖ 撮影モード.....	34
⑩ 画質モード.....	62	㉗ 連写.....	45
⑪ 日付・時刻.....	21、90	㉘ セルフタイマー (インターバル撮影 / タイムラプス動画).....	62
⑫ AF フレーム.....	50	㉙ 調光補正.....	65
⑬ ホワイトバランス.....	52、65	㉚ フラッシュ.....	51
⑭ FINEPIX カラー.....	62	㉛ プレ防止.....	68
⑮ 温度警告.....	145	㉜ 超解像ズーム.....	70
⑯ 手ブレ警告.....	135		

*1  はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。画像の記録中は、黄色く点滅します (メモリーカード挿入時は、 が黄色く点滅します)。

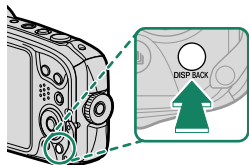
*2 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「**9999**」と表示されます。

LCD の明るさ・鮮やかさ調整

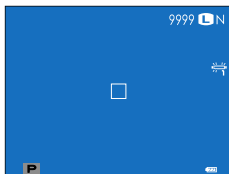
屋外で使用するときは、太陽光などの影響によって画面が見えにくくなる場合があります。その場合は  表示設定 > LCD 明るさ、LCD 鮮やかさで液晶モニター（LCD）の明るさや鮮やかさを調整します。

情報表示の切り替え

撮影モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



スタンダード



情報表示なし



「スタンダード」画面の表示について

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目は、**表示設定 > 画面のカスタマイズ**で選択できます。

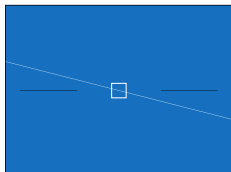
- DISP/BACK** ボタンを押して、「スタンダード」画面に切り替えます。
- セットアップメニューから **表示設定 > 画面のカスタマイズ** を選びます。
- 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
画面に表示される項目には、**✓** が表示されています。**✓** が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

表示項目	工場出荷時	表示項目	工場出荷時
フレーミングガイド	<input type="checkbox"/>	ブレ防止	<input checked="" type="checkbox"/>
電子水準器	<input type="checkbox"/>	ホワイトバランス	<input checked="" type="checkbox"/>
AF フレーム	<input checked="" type="checkbox"/>	FINEPIX カラー	<input checked="" type="checkbox"/>
撮影モード	<input checked="" type="checkbox"/>	撮影可能枚数	<input checked="" type="checkbox"/>
絞り / シャッター速度 / ISO	<input checked="" type="checkbox"/>	画像サイズ & 画質モード	<input checked="" type="checkbox"/>
情報表示背景	<input type="checkbox"/>	動画モード & 録画時間	<input checked="" type="checkbox"/>
露出補正表示	<input checked="" type="checkbox"/>	超解像ズーム	<input checked="" type="checkbox"/>
フラッシュ	<input checked="" type="checkbox"/>	画像転送予約	<input checked="" type="checkbox"/>
連写モード	<input checked="" type="checkbox"/>	バッテリー残量表示	<input checked="" type="checkbox"/>

- 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。
設定が保存されます。
- DISP/BACK** ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

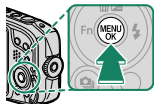
電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。



メニューの使い方

MENU/OK ボタンを押すと、メニューが表示されます。



使用するメニュータブへの移動は以下の手順で行います。

1 MENU/OK ボタンを押して、メニューを表示します。



2 ◀ でタブ選択に移ります。



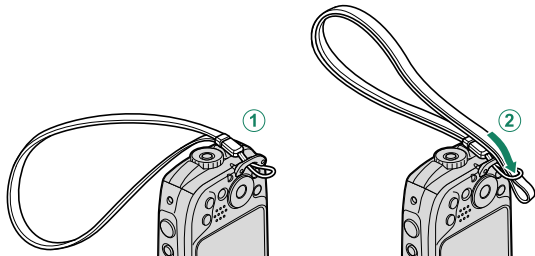
3 ▲ または ▼ で使用する項目のメニュータブ ([01] / [02] / [03] / [1] / [2] / [3] / [1] / [2]) を選びます。

4 ▶ でメニューに戻ります。

2 撮影の準備

ストラップを取り付ける

ストラップはカメラのストラップ取り付け部に取り付けます。



ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

バッテリーとメモリーカードを入れる

カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。

- ❗ 防水パッキンに異物が付いていないかを確認してください。詳しくは「使用前のご注意 / ご確認事項」(㊦ xv) をご覧ください。

- 1 ロック解除ボタンを押し込みながら (①)、開閉ダイヤルを回して (②)、バッテリーカバーを開けてください (③)。

カメラについた水滴や汚れを乾いた布できれいに拭き取ってから、バッテリーカバーを開けてください。

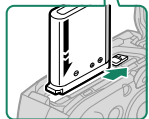
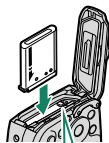
- ❗
- カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
 - バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。



- 2 バッテリーを図のように入れます。

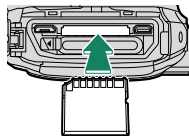
バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。

- ❗
- バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
 - バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。



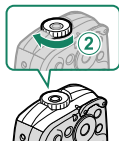
3 メモリーカードを入れます。

- ❗ メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。メモリーカードが正しく入っていないと、撮影された画像は内蔵メモリー（📷）と画面に表示されます。に記録されます。
- 「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。



4 バッテリーカバーを本体に押し当てながら (①) 開閉ダイヤルを「カチッ」と音（感触）がするまで回して (②)、確実にロックしてください。

- ❗ バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。
- 防水パッキンやパッキンの当たる面にゴミや砂が付いていないか確認してから閉めてください。
- バッテリーカバーに対して横から無理な力を加えながら閉じないでください。防水パッキンが正しい位置から外れると防水効果を損ないます。
- 必ずバッテリーカバーが確実にロックされていることを確認してください（開閉ダイヤルを逆に回して、バッテリーカバーが開かないことを確認してください）。

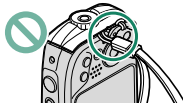


5 メモリーカードをフォーマット（初期化）します（📖 101）。

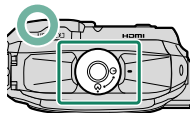
- ❗ 未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。

必ずご確認ください

- ストラップがバッテリーカバーに挟まっていませんか？
- 開閉ダイヤルが正しくロックされていますか？

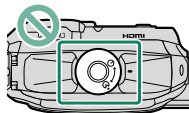


正しくロックされている場合



開閉ダイヤルの指標が合っている

正しくロックされていない場合

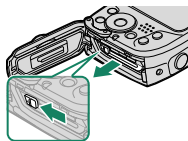


開閉ダイヤルの指標がずれている

バッテリーを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

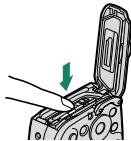
- ⚠ 高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。



メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を放すと、ロックが外れて取り出せます。

- ⚠
- メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押してください。
 - メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。



使用可能なメモリーカード

- このカメラは、SD/SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。また、バスインターフェースは UHS-I に対応しています。
- 4K 連写および動画を撮影するときは、UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> を参照してください。



- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラを修理すると、内蔵メモリーのデータが消えたり、壊れたりすることがあります。また、修理技術者が、修理中に内蔵メモリーの画像を見ることがあります。
- カメラでメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットすると、初回撮影時に画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリー内の画像の削除は、必ずカメラで行ってください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。



バッテリーを充電する

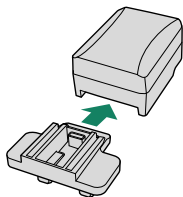
ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。充電する前に、カメラの電源をオフにしてください。

- ① このカメラに付属されているバッテリーは NP-45S です。
- 充電時間は約 120 分です。

1 AC パワーアダプターにプラグアダプターを取り付けます。

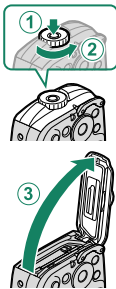
図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、プラグアダプターを確実に奥まで差し込みます。

- ① 付属のプラグアダプターは、AC パワーアダプター AC-5VG 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。
- プラグアダプターは、仕向け国によって形状が異なります。



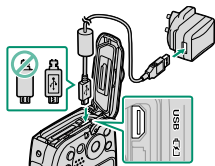
2 ロック解除ボタンを押し込みながら ①、開閉ダイヤルを回して ②、バッテリーカバーを開けてください ③。

カメラについた水滴や汚れを乾いた布できれいに拭き取ってから、バッテリーカバーを開けてください。



3 バッテリーを充電します。

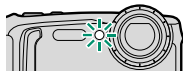
カメラと AC パワーアダプターを付属の USB ケーブルで接続します。AC パワーアダプターを屋内の電源コンセントに差し込みます。



- カメラのマイクロ USB 端子 (Micro-B) に USB ケーブルを接続します。
- USB ケーブルは向きに注意して、端子の奥までしっかりと差し込んでください。

充電状態の表示

セルフタイマーランプでバッテリーの充電状態を示します。



セルフタイマーランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	バッテリー異常

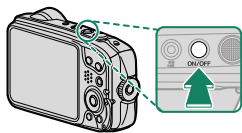


- カメラの電源がオンのときは充電できません。
- 付属の AC パワーアダプターは 100 ~ 240V まで対応しており、海外でもご使用いただけます（変換プラグアダプターが必要な場合があります）。
- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ~ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- AC パワーアダプターを使用しないときは、コンセントから AC パワーアダプターを抜いてください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。
- バッテリーを入れた状態で AC 電源に接続後、カメラの電源をオンにすると、外部電源モードで動作します。

電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにします。

ON/OFF（電源）ボタンを押すと、電源がオンになります。もう一度押すと、電源がオフになります。



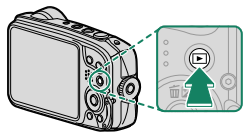
- レンズ保護ガラスに指紋が付かないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。
- バッテリーカバーのロックを確認するメッセージが表示されることがありますが、故障ではありません。



- 撮影中に **▶**（再生）ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。 **消費電力設定 > 自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。
- **消費電力設定 > ハイパフォーマンスを ON** にすると、起動時間が短縮されます。

再生モードで電源をオンにするには

- **▶**（再生）ボタンを長押しすると、再生モードで電源がオンになります。
- 再生中に **▶**（再生）ボタンを押すと電源がオフになります。







バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

画面に表示されるバッテリー残量表示の目盛でバッテリー残量を表します。



表示	意味
 (白点灯)	バッテリーの残量は十分にあります。
 (白点灯)	バッテリーの残量は約半分以下です。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにすると、言語や日時を初期設定として設定できます。また、このカメラでは、初期設定でスマートフォンとカメラをペアリングすることで、日時の自動設定やスマートフォンへの画像送信が簡単にできるようになります。以下の手順で初期設定を行ってください。

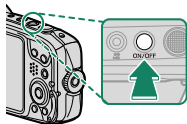


ペアリングを行う場合は、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールして、起動しておいてください。「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

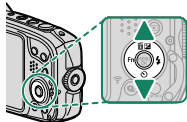
1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。




2 言語を設定します。

▲▼で使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



3 スマートフォンとペアリングを行います。


MENU/OK ボタンを押して、「FUJIFILM Camera Remote」の**ペアリング登録**を押します。

 ペアリングを行わない場合は、**DISP/BACK** ボタンを押して、設定をスキップしてください。



4 ペアリングが完了すると、時刻の確認画面が表示されます。

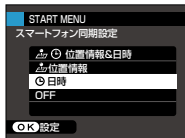
表示されている時刻を確認します。

 **DISP/BACK** ボタンを押すと、手動で時刻を設定できます (📖 23)。




5 カメラの設定情報をスマートフォンと同期します。

  **接続設定 > Bluetooth 設定** であることから設定することもできます。



6 MENU/OK ボタンを押します。

確認した時刻がカメラに設定され、撮影画面が表示されます。


 バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

設定のスキップ

スキップした設定は、次にカメラを起動したときに再度、設定画面を表示させるかどうかを調べます。次回起動時に設定画面を表示させたくない場合は確認画面で**表示しない**を選んでください。


言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1 セットアップメニューから  言語/LANG. を選びます。
- 2 言語を設定します。
▲▼ で使用する言語を選びます。
- 3 MENU/OK ボタンを押します。
設定した言語表示になります。

日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1 セットアップメニューから  日時設定を選びます。
- 2 日時を設定します。
◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。
- 3 MENU/OK ボタンを押します。
日時が設定されます。

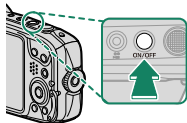
3 基本的な撮影と再生

静止画を撮影する

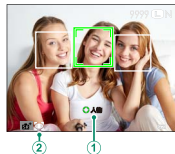
ここでは、撮影の基本的な流れを説明します。

- 1 ON/OFF（電源）ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。

SR+ 撮影画面が表示されます。



- ① シーン：カメラが認識した最適なシーンが表示されます。
- ② **アイコン**：カメラが瞳を常に検出し続けることを表すアイコンです。



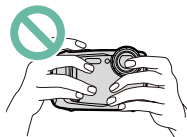
! アドバンストSRオート (**SR+**) で撮影するときは、常にピント合わせを続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください。

- 2 カメラを構えます。

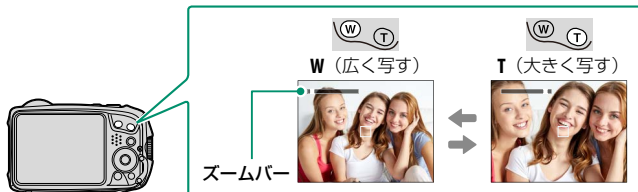
- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。



- レンズ保護ガラスやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



3 ズームボタンを押して、構図を決めます。



4 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。

- ピントが合うと、白色のAFフレームが緑色に変わりピピッと音が鳴ります。
- ピントが合わないときは、赤色のAFフレームと**!AF**が液晶モニターに表示されます。構図を変えるか、AE/AFロックを使ってください(図50)。



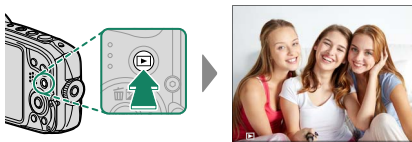
- シャッターボタンを半押しすると、レンズ動作音が発生します。
- 暗い被写体のピントを合わせやすくするためにAF補助光ランプが発光する場合があります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AFロック」、明るさを決めて固定することを「AEロック」といいます。
- レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます(全押しします)。

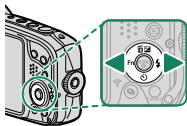
▶ 静止画を再生する


撮影した画像を再生します。

- ▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。



1つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。



- ❏ 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに  (プレゼントアイコン) が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりすることがあります。



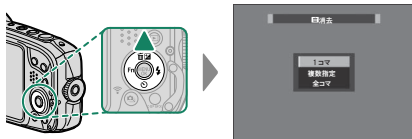
画像を消去する

1 コマ再生時に (▲) ボタンを押すと、画像を消去できます。



誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

1 1 コマ再生中に (▲) ボタンを押して、1 コマを選びます。



2 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。



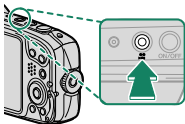
- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押し続けると画像が連続して消去されます。消去する画像を選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。
- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (83)。
- 再生メニューの **消去** でも、画像を消去できます。複数指定 / 全コマ消去による消去方法は再生メニューの **消去** をご覧ください (78)。

4 動画の撮影と再生

動画を撮影する

ここでは、動画を撮影する流れを説明します。

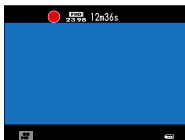
- 1 ①（動画撮影）ボタンを押すと、動画撮影が開始されます。



- 撮影中は、●が表示されます。
- 動画撮影の残り時間（カウントダウン）が表示されます。



動画撮影中もズーム操作が行えます（図 26）。



- 2 もう一度 ①（動画撮影）ボタンを押すと、撮影が終了します。
残り時間がなくなるか、内蔵メモリーまたはメモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。



- **動画設定 > 動画モード**で **4K 2160/15P** または **1080/59.94P** を選択すると、電子式手ブレ補正は行いません (📖 66)。
- 動画撮影中にバッテリーカバーを開けないでください。撮影した動画が再生できなくなります。
- 動画を撮影するときは、UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。
- **電子式手ブレ補正が ON** のときは、撮影される範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
- 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。









撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。




電子式手ブレ補正

このカメラでは、動画撮影時に発生する手ブレを補正し、揺れの少ない映像を撮影できます。撮影メニューの **電子式手ブレ補正** で、**ON** または **OFF** を選択できます (📖 68)

動画の設定について


- 動画の設定は撮影メニューの  **動画設定** で変更できます。
- 動画の種類や動画サイズ、フレームレートは  **動画設定** > **動画モード** で変更できます。
- 動画撮影時のピント合わせの方法は  **動画設定** > **フォーカスモード** で **コンティニユアス AF** または **シングル AF** を選べます。
- 動画撮影時は、 **動画設定** > **フォーカスモード** を **シングル AF** にしても、 **フォーカス設定** > **顔検出 / 瞳 AF 設定** の **顔検出** が **ON** のときは、自動的に **コンティニユアス AF** になります。

 長時間、動画を撮影したり、まわりの温度が高い場所で使用した場合に、カメラの温度が高くなることがありますが故障ではありません。

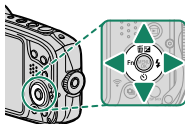
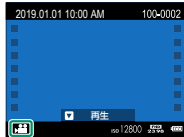
-  ● 露出とホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。撮影した動画の色と明るさが、撮影前の液晶モニターの表示と異なることがあります。
- 被写体が暗くピントが合いにくい場合、AF 補助光ランプが発光します。AF 補助光を発光しないようにするには、 **フォーカス設定** > **AF 補助光** ( 59) を **OFF** にします。

▶ 動画を再生する

撮影した動画をカメラで再生します。

画像の再生時に動画を選択すると、が表示されます。1コマ再生時に動画を選択して▼を押すと、動画を再生できます。

動画再生時の操作は、セレクターボタン（▲▼◀▶）で行います。



	1コマ再生中	▶ 再生中	一時停止中
▲ (上)	消去	停止	
▼ (下)	再生	一時停止	再生
◀▶ (左右)	前後の画像を表示	再生速度	コマ送り

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。





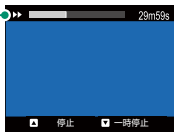
- スピーカーを指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。
- **電子音 & フラッシュが OFF** の場合は音声再生されません。



再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、 **音設定の再生音量**でも設定できます (p.92)。

動画の再生速度について

再生中に ◀ または ▶ を押して、再生速度を変更できます。
再生速度は再生アイコンの ▶ (◀) の数で表示されます。
▶ (◀) の数が多いほど速度が速くなります。



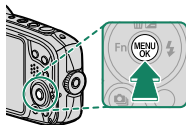
再生アイコン

5 撮影に関する設定

撮影モードを変更

撮影モードを切り替えて、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。

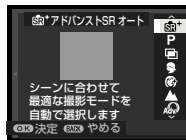
- 1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。



- 2 **撮影モード**を選んで、**▶**を押します。
撮影モードの選択画面が表示されます。





















- 3 撮影モードを選んで、**MENU/OK** ボタンを押します。
撮影モードが設定され、撮影メニューに戻ります。



- 4 **DISP/BACK** ボタンを押します。
撮影画面に戻ります。

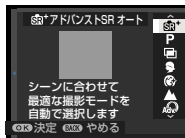
撮影モード一覧

撮影モード	機能
 アドバンスト SR オート	被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動で撮影シーンを認識し、最適な設定にします (図 36)。
P プログラム	カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。
 多重露出	2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します (図 37)。
 人物	人物の撮影に適しています。
 美肌	肌をなめらかに撮影します。
 風景	昼間の風景撮影に適しています。
 アドバンストフィルター	さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます (図 38)。
 パノラマ	カメラを動かして撮影した複数の画像を自動で合成し、1枚のパノラマ写真を作成します (図 40)。
 スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
 夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。
 夜景 (三脚)	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
 花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します (図 43)。
 夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
 スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
 ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
 水中	水中撮影を行うときに使います。
 パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。
 花	花に近づいて撮影するときを使用します。
 文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときを使用します。
CALS CALS	工場写真提出用に適した画像サイズおよび画質で撮影します (図 43)。

SR+ アドバンスト SR オート

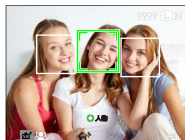
シーンに最適な撮影モードをカメラが自動的に認識して撮影します。

撮影モードを SR+ アドバンスト SR オートにします。



カメラが認識した最適なシーンが表示されます。

シーン			
AUTO	風景	マクロ	逆光&人物
人物	夜景	夜景&人物	夕焼け



❗ シーンによっては認識されたシーンが実際と異なる場合があります。また、撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンとして認識される場合があります。認識されたシーンが実際と異なる場合は、撮影モードの P (プログラム) を選択してください。



- カメラが人物の顔を認識した場合は、顔の上に緑枠を表示し、シャッターボタンを半押しするとピントを合わせます。カメラが複数の顔を認識した場合は中央付近の顔の上に緑色の枠が表示され、その他の顔の上に白い枠が表示されます。◀ を押しと緑枠が表示されている人物の顔を切り替えられます。
- カメラが物体を検出した場合は、物体の上に緑色の枠が表示し、シャッターボタンを半押しするとピントを合わせます。◀ を押しとカメラは常に画面中央でピントを合わせ、もう一度 ◀ を押しと物体検出に戻ります。
- SR+ アドバンスト SR オートでは、◀ に割り当てられた機能は無効になります。
- 撮影の直前にカメラや人物または物体が動いたときは、緑色の枠からずれて写ることがあります。
- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など、人物の顔を認識できない場合があります。

多重露出

2 枚の画像を重ねて 1 つの画像に合成します。



1 撮影モードを 多重露出 にします。

2 1 枚目の画像を撮影します。

3 MENU/OK ボタンを押します。
2 枚目の撮影画面になります。



- 1 枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。
- DISP/BACK ボタンを押すと、1 枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。



4 2 枚目の画像を撮影します。

1 枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら 2 枚目の画像の位置を調整してください。



5 MENU/OK ボタンを押します。

2 枚の画像を合成した画像が保存されます。



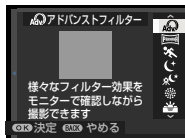
- 2 枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。



Adv アドバンスフィルター

さまざまなフィルター効果を加えて撮影できます。

1 撮影モードを Adv アドバンスフィルターにします。




















- ファンクションボタンでもアドバンスフィルター選択画面を表示できます。工場出荷時の設定では、◀ にアドバンスフィルターが割り当てられています。
- アドバンスフィルターの機能は、他のファンクションボタンにも割り当てることができます (p.103)。
- ◀ には、セットアップメニューの **Fn ファンクション (Fn) 設定** で他の機能を割り当てることができます。

2 アドバンスフィルター選択画面が表示されます。



3 アドバンスフィルターを選びます。

アドバンスフィルター	効果
 トイカメラ	レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
 ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
 ハイキー	全体的に階調を明るくし、コントラストを抑えます。
 ローキー	全体を暗く落着かせつつ、ハイライト部分を強調します。
 魚眼	魚眼レンズのような効果が得られます。
 ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
 ミニチュア*	ジオラマ風に上下をぼかします。
 クロススクリーン*	光源の光を放射状に強調します。クロススクリーンの効果は撮影画像でご確認ください。
 リッチ&ファイン	卓上の料理などを撮影するのに適した効果を与えます。
 モノクロ（近赤外風）	近赤外線カメラ風に撮影します。
 パートカラー（レッド）	特定の色域（カッコ内の色）だけを残し、残りをモノクロにします。
 パートカラー（オレンジ）	
 パートカラー（イエロー）	
 パートカラー（グリーン）	
 パートカラー（ブルー）	
 パートカラー（パープル）	
 ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え、やわらかな雰囲気を与えます。

* 動画撮影時、このアドバンスフィルターは使用できません。



被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色味にならなかったりする場合があります。

4 MENU/OK ボタンを押します。

アドバンスフィルターが設定されます。

パノラマ

カメラを動かしながら撮影した複数の画像を合成し、高画質な1枚のパノラマ写真を作成します。

1 撮影モードを パノラマにします。



2 撮影する角度（撮影画角）を選びます。

◀ で撮影画角変更画面を表示させ、撮影する画角の大きさを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3 撮影方向を選びます。

▶ で撮影方向選択画面を表示させ、撮影する方向を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

4 シャッターボタンを全押しします。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

5 矢印方向にカメラを動かします。

ガイドの終端までカメラが動くと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。



うまく撮影するには

- 一定の速度でゆっくりと小さな円を描くようにカメラを動かします。
- ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- カメラがブレないように脇をしめて撮影してください。
- 三脚を使うと、よりきれいに撮影できます。



- 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が保存されないことがあります。
- 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- 以下の場合はパノラマ撮影には適していません。
 - 被写体が動いている
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる
 - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
 - 波や滝など常に模様に変化する風景
 - 明るさが大きく変動するシーン
- 露出は、最初にシャッターボタンを半押しした時点で固定されます。

パノラマ画像の再生

1 コマ再生時にパノラマ写真を選択して ▼ を押すと、パノラマ写真を再生できます。横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。



- 停止中（1 コマ再生時）に **W**（広角ズーム）ボタンまたは **T**（望遠ズーム）ボタンを押すと、パノラマ写真を縮小 / 拡大表示できます。
- パノラマ再生時の操作は、セレクトボタンで行います。

	1 コマ再生中	再生中	一時停止中
▲（上）	消去	停止	
▼（下）	再生	一時停止	再生
◀▶（左右）	前後の画像を表示	再生方向の変更	コマ送り

花火

スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。

1 撮影モードを  花火にします。

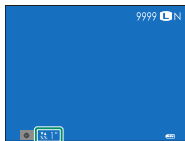


2 撮影するシャッタースピードを選びます。

▲を押すと、▲▼でシャッタースピードを変更できます。

3 MENU/OK ボタンを押します。

変更したシャッタースピードが設定されます。





CALS CALS

工場写真提出用に適した画像サイズおよび画質に設定して撮影します。

1 撮影モードを  CALS CALS にします。

2 MENU/OK ボタンを押します。


 CALS CALS に設定すると、撮影メニューの  画像サイズと  画質モードが固定されます。

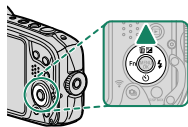
 画像サイズと  画質モードの設定を変更するには、撮影モードから **CALS CALS** 以外のモードを選択してください。




露出補正

画像の明るさを調整できます。

- 1 ▲ ( 露出補正) ボタンを押します。



- 2 ▲▼ で露出を補正し、**MENU/OK** ボタンを押します。

 モードによっては露出補正ができない場合があります。

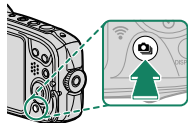






連続撮影（連写）





シャッターボタンを押し続けている間、連続撮影します。動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

- 1 連写切替ボタン（）を押します。

連写モード設定画面が表示されます。



- 2 ▲▼で連写（ 連写（ 46） または  4K 連写（ 46） を選びます。

- 3  連写の場合は ◀▶ で連写速度（ 高速 /  中速 /  低速）を選びます。

- 4 MENU/OK ボタンを押します。

連写が設定されます。

- 5 撮影します。

連写画像の再生




連写で撮影された画像は、最初の1枚のみが表示されます。連写画像を個別に表示させるときは ▼ を押します。



連写画像は「S」ではじまるファイル名で記録されます。

例：S0010001.JPG

📷 連写（高速 / 中速 / 低速）

シャッターボタンを押し続けている間、各連写速度に応じたコマ数で連続撮影します。シャッターボタンを放すか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。連写速度は  高速、 中速または  低速を選べます。



- 連写中にファイル NO. が 999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます。
- 連写中にメモリーカードまたは内蔵メモリーの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わる場合があります。
- 撮影条件によっては、連写速度が低下します。
- フラッシュは使用できません。
- 連続撮影では、撮影した画像を記録する時間が長くなる場合があります。

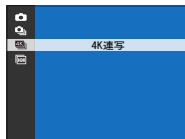
4K 📷 4K 連写

4K 画像を連続撮影し、撮影された画像を選んで保存できます。

連写選択画面で  4K 連写を選びます。



- 4K 連写では、UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 4K 連写を選ぶと、画角が狭くなります。

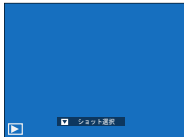


1 連写モードを **4K** 4K 連写に設定して、連写します。

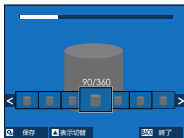


シャッターボタンを押したときの機能は撮影メニューの **DISP** リリース操作で変更できます。

2 再生モードで **4K 連写** 撮影した画像を選び、▼で撮影した連写画像のサムネイル一覧を表示します。



3 ◀▶でサムネイル画像を選び、連写切替ボタン(🔍)で選んでいる画像を保存します。



4 必要な画像の保存が終わったら、**DISP/BACK** ボタンを押します。 サムネイル一覧表示が終了します。



- 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
- 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。

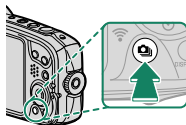


- **表示設定 > 撮影画像表示を連続**に設定すると、撮影後に撮影画像が自動的に表示されますので、再生モードに変更しなくても好きな画像を選んで保存できます。
- フラッシュは使用できません。

HDR 撮影

一度シャッターボタンを押すと、露出の異なる写真を複数枚撮影し、合成することで白飛びや黒つぶれの少ない幅広いダイナミックレンジを持つ画像（ハイダイナミックレンジイメージ）を作成します。

- 1 連写切替ボタン (📷) を押します。
連写モード設定画面が表示されます。



- 2 連写選択画面より ▲▼ で HDR を選びます。
- 3 ◀▶ で変化量 (AUTO、1.0EV、1.5EV、2.0EV、2.5EV、3.0EV) を選びます。
- 4 MENU/OK ボタンを押します。
変化量が設定されます。
- 5 撮影します。



- 動いている被写体の場合、合成処理に失敗することがあります。
- 撮影中にカメラを大きく動かした場合や撮影シーンによっては、合成されずに記録されることがあります。
- 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。




撮影後、合成された画像が表示されます。MENU/OK ボタンを押すと合成画像が保存され、DISP/BACK ボタンを押すと保存せずに HDR 撮影を終了します。



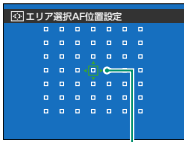

フォーカスモード

ピント合わせの方法を変更できます。

フォーカスモードの設定方法

- 1 MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
- 2  フォーカス設定 > フォーカスモードを選びます。
- 3 設定するフォーカスモードを選びます。

フォーカスモードの種類

フォーカスモード	内容
 オートエリア	シャッターボタンを半押しすると、画面内でコントラストが高い被写体にピントを合わせます。
 エリア選択	フォーカスエリア（ピントを合わせる位置）を変更できます。▲▼◀▶でフォーカスエリアポイントを移動させ、MENU/OK ボタンでフォーカスエリアを設定します。  フォーカスエリアポイント
 自動追尾	被写体の動きに合わせて枠が移動しピントを合わせ続けます。被写体に画面中央の枠を合わせ、DISP/BACK ボタンを押すと、自動追尾を開始します。

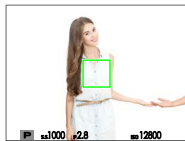
AE/AF ロック撮影

シャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが固定されます。

1 AE/AF ロックしたい被写体に AF フレームを合わせます。

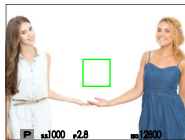
2 シャッターボタンを半押しします。

被写体に露出が合い、AF フレームが緑点灯します。



3 半押ししたまま構図を変えます。

被写体との距離は変えないでください。



4 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前にある被写体など）

フラッシュ撮影

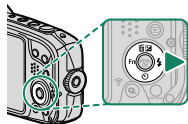
夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

1 ▶ (🔦 フラッシュ) ボタンを押します。

フラッシュ設定画面が表示されます。



- ▶ (🔦 フラッシュ) ボタンは、セットアップメニューの **Fn** ファンクション (Fn) 設定で他の機能を割り当てることができます。また、他のファンクションボタンに割り当てすることもできます (p.103)。
- 撮影メニューの **🔦** フラッシュ設定でもフラッシュモードを設定できます。



2 使用するフラッシュモードを選びます。

設定	説明
オート (表示なし) 🔦 赤目軽減オートフラッシュ*	カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
🔦 強制発光 🔦🔦 赤目軽減+強制発光フラッシュ*	周囲の明るさに関わらず、フラッシュが発光します。
🔦🔦 スローシンクロ 🔦🔦 赤目軽減+スローシンクロ*	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。
🔦🔦 発光禁止	周囲や被写体の明るさに関わらず、フラッシュは発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。

* 暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。🔦 フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の顔検出と 🔦 フラッシュ設定 > 赤目補正を ON にした場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。

3 MENU/OK ボタンを押します。

フラッシュモードが設定されます。










- フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に 🔦 が表示されます。
- フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。


WB ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

- 1 MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。
- 2 WB** ホワイトバランスを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
ホワイトバランスの設定画面が表示されます。
- 3** 使用するホワイトバランスを選びます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
	晴天の屋外での撮影用です。
	曇天や日陰などでの撮影用です。
	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
	白色蛍光灯の下での撮影用です。
	電球、白熱灯の下での撮影用です。
	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。



- 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO**/ 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。



セルフタイマー

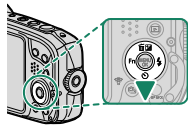
撮影者を含めた集合写真や、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐための撮影には、セルフタイマーをお使いください。また、条件を満たすと自動的に撮影されるセルフタイマーも用意されています。

1 ▼ (🕒 セルフタイマー) ボタンを押します。

セルフタイマーの設定画面が表示されます。



- ▼ (🕒 セルフタイマー) ボタンは、セットアップメニューの **Fn** ファンクション (Fn) 設定で他の機能を割り当てることができます。また、他のファンクションボタンに割り当てすることもできます (103)。
- 撮影メニューの 🕒 セルフタイマーでもセルフタイマーを設定できます。



2 使用するセルフタイマーを設定します。

セルフタイマー	📖	セルフタイマー	📖	セルフタイマー	📖
🕒 2 秒後撮影	54	😊 スマイル撮影	55	👥 グループタイマー撮影	56
🕒 10 秒後撮影	54	💑 カップルタイマー撮影	55	OFF	—
👤 フェイスオートシャッター	54				

3 MENU/OK ボタンを押します。

セルフタイマーが設定されます。





- シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならなかったりすることがあります。
- セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。





- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。
- セルフタイマーを 👤 (フェイスオートシャッター)、😊 (スマイル)、💑 (カップル)、👥 (グループ) に設定すると、**AF** フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定は自動的に 顔検出 ON / 瞳 AF OFF になります。セルフタイマーを OFF にすると、設定は元に戻ります。

2 秒後撮影 / 10 秒後撮影

シャッターボタン全押し後、2 秒または 10 秒後にシャッターがきれます。


- 1 セルフタイマーの設定画面で、 (2 秒) または  (10 秒) を選び、MENU/OK ボタンを押します。


設定	説明
 2 秒 (2 秒後撮影)	シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後にシャッターがきれます。シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐときなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。
 10 秒 (10 秒後撮影)	シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後にシャッターがきれます。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。

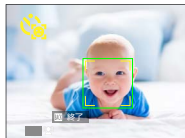
- 2 シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーが開始します。
画面には、シャッターがきれまでの秒数が表示されます。
- 3 カウントダウンが終わると同時に自動的に撮影されます。

フェイスオートシャッター

被写体に人物の正面顔を認識すると自動的に撮影されます。


- 1 セルフタイマーの設定画面で、 (フェイスオートシャッター) を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 2 カメラを被写体 (人物) に向けると、顔検出が行われます。
- 3 顔検出で正面顔が検出されると、自動的に撮影されます。


-  前髪が目にかかっていたり、カメラに対して正面に向けていなかったりすると、検出されにくくなります。




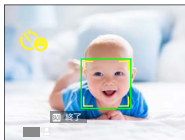
スマイル撮影

被写体（人物）が笑顔になった瞬間に自動的に撮影されます。

- 1 セルフタイマーの設定画面で、（スマイル）を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 カメラを被写体（人物）に向けると、顔検出が行われます。
- 3 顔検出で笑顔が検出されると、自動的に撮影されます。


 前髪が目にかかっていたり、カメラに対して正面に向いていなかったりすると、検出されにくくなります。

 顔検出の1人でも笑顔が検出されると、自動的に撮影されます。



カップルタイマー撮影



設定した距離に2人の顔が近づくと自動的に撮影されます。

- 1 セルフタイマーの設定画面で、（カップル）を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 2人の距離レベルを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。


LV.1：手をつなぐ距離

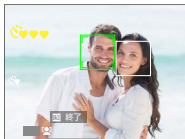
LV.2：肩を寄せた距離

LV.3：顔を寄せた距離

 撮影画面には、 の数で距離レベルを表示します。


- 3 検出された2人の顔の距離が設定した距離レベルになると、カウントダウン（1秒）が開始され自動的に撮影されます。

 設定した距離レベル（ の数）にならないと、カウントダウンは開始されません。



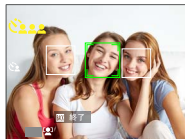
グループタイマー撮影



設定した人数がそろったときに自動的に撮影されます。

- 1 セルフタイマーの設定画面で、（グループ）を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 撮影する人数（1人～4人）を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

 撮影画面には、 の数で人数を表示します。

- 3 検出された顔が設定した人数になると、カウントダウン（2秒）が開始され自動的に撮影されます。







 設定した人数（ の数）にならないと、カウントダウンは開始されません。

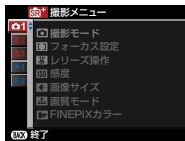
6 撮影メニュー

撮影メニュー (/ /)

撮影時に使う機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、 /  / 
(撮影メニュー) タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



撮影モード

撮影目的や状況 (シーン) に適した撮影モードを設定できます (44)。

フォーカス設定

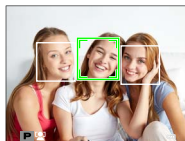
撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

フォーカスモード

ピント合わせの方法を変更できます (49)。

顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を ON にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。また、瞳 AF を ON にすると、目にピントを合わせることができます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。



設定	説明
顔検出 ON/ 瞳 AF OFF	顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。
顔検出 ON/ 瞳 AF AUTO	顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 右目優先	顔を検出したときに右目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 左目優先	顔を検出したときに左目にピントを合わせます。
顔検出 OFF/ 瞳 AF OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。



- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。



- 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
- カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。撮影モードで **SR** アドバンスド SR オートを選んでいるときのみ、**◀** を押すと緑枠が表示されている人物の顔を切り替えられます。
- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。

AF 補助光

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光ランプが発光します。AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定値


ON

OFF



- **電子音 & フラッシュを OFF にすると、AF 補助光ランプは発光しません。**
- シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- 被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- 人の目に近づけて発光させないでください。

リリース操作

連写モードが  **4K 連写** で、シャッターボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
押下中	シャッターボタンを押している間、4K 連写を行います。
押下切替	シャッターボタンを押すと4K連写が開始され、もう1度シャッターボタンを押すと終了します。

ISO 感度

光に対する ISO 感度を変更できます。

設定	説明
AUTO AUTO (1600) AUTO (800) AUTO (400)	被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます。自動的に設定される感度の上限を () 内に制限できます。 AUTO は AUTO (1600) 、 AUTO (800) 、 AUTO (400) が設定できないときのみ表示されます。
12800 ~ 100	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。



ISO 感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。

ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

📷 画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定値

L 4:3 (4608×3456)	L 3:2 (4608×3072)	L 16:9 (4608×2592)	L 1:1 (3456×3456)
M 4:3 (3264×2448)	M 3:2 (3264×2176)	M 16:9 (3264×1840)	M 1:1 (2432×2432)
S 4:3 (2048×1536)	S 3:2 (2304×1536)	S 16:9 (1920×1080)	S 1:1 (1728×1728)

⚠ 内蔵メモリーに記録する場合の工場出荷時設定は **S** 4:3 です。

🔋 画像サイズは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り替えても保持されます。

画像の縦横比について

画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

設定	説明
4:3	液晶モニターの再生表示の比率と同じです。
3:2	画像の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3:2 になります。
16:9	画像の縦横比が 16:9 になり、ハイビジョンテレビでの再生に適しています。
1:1	正方形の比率です。

ファンクションボタンを使って縦横比を 1:1 に変更する

ファンクションボタンにスクエアモード (1:1) を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで撮影時の画像サイズを 1:1 の縦横比に変更できます (📖 103)。再度ファンクションボタンを押すと元の縦横比に戻ります。

設定されている 画像サイズ	ファンクションボタン (スクエアモード (1:1) を割り当て済み) を押した場合
L 4:3、 L 3:2、 L 16:9	L 1:1
M 4:3、 M 3:2、 M 16:9	M 1:1
S 4:3、 S 3:2、 S 16:9	S 1:1





画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
FINE	圧縮率を低くして画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率を高くして撮影枚数を優先するモードです。

FINEPIX カラー

色調を変更できます。色鮮やかに撮影したり、白黒で撮影できます。

設定	説明
 スタンダード	標準的なコントラストと色味で撮影します。通常はこの設定でお使いください。
 クローム	鮮やかなコントラストと色味で撮影します。花や青空や深緑などの風景に適しています。
 モノクロ	白黒の画像を撮影します。
 セピア	セピア画像を撮影します。



- **STD** スタンダード以外に設定すると、液晶モニターにアイコンが表示されます。
- 被写体によっては、**C** クロームの効果が液晶モニターでわかりにくい場合があります。

セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてからセルフタイマーが開始されるまでの時間を設定できます。また、条件を満たすと自動的に撮影されるセルフタイマーも用意されています (📖 53)。

📷 インターバルタイマー撮影

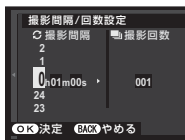
設定した撮影間隔で自動的に設定回数分の撮影を行う、インターバルタイマー撮影ができます。インターバルタイマーで撮影した静止画をつなぎ合わせて、1つの動画（タイムラプス動画）として保存することもできます。

- 1 撮影メニューから 📷 インターバルタイマー撮影を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。

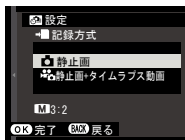
- 2 ▲▼◀▶ で撮影間隔と撮影回数を設定し、**MENU/OK** ボタンを押します。

記録方式設定画面が表示されます。



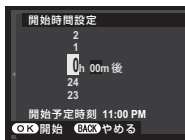
- 3 ▲▼ で記録方式を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
開始時間設定画面が表示されます。

- 📷 静止画：撮影した静止画のみを記録します。
- 📷🎞️ 静止画+タイムラプス動画：撮影した静止画と静止画をつなぎ合わせたタイムラプス動画を記録します。



📷 タイムラプス動画の画像サイズとフレームレートは 📷 タイムラプス動画モードで変更できます。

- 4 ▲▼◀▶ で開始時間を設定し、**MENU/OK** ボタンを押します。



5 インターバルタイマー撮影が開始されます。



! 連写、4K 連写、HDR 撮影、パノラマ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。


- !** 三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影する条件によっては、インターバルタイマー撮影中の画面表示が消えることがあります。撮影の数秒前になると画面表示が復帰します。
- 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを押すと、画面表示が復帰します。

インターバルタイマーで撮影された画像の再生

インターバルタイマーで撮影された画像は、最初の 1 枚のみが表示されます。画像を個別に表示させるときは ▼ を押します。

- !** インターバルタイマーで撮影された画像は「S」ではじまるファイル名で記録されます。
例：S0010001.JPG

タイムラプス動画モード

インターバルタイマー撮影の記録形式で  静止画+タイムラプス動画を設定したときの動画の画像サイズとフレームレートを変更できます。

設定	説明
4K 2160/15P*	フレームレートが 15 fps の 3840 × 2160 の 4K 動画
HD 1080/59.94P HD 1080/24P	フレームレートが 59.94fps、50fps、24fps、
HD 1080/50P HD 1080/23.98P	23.98fps の 1920 × 1080 の動画
HD 720/59.94P HD 720/24P	フレームレートが 59.94fps、50fps、24fps、
HD 720/50P HD 720/23.98P	23.98fps の 1280 × 720 の動画

* 撮影した動画をカメラで再生する場合は、UHS スピードクラス 3 以上のカードをお使いください。

WB ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます (📖 52)。

⚡ フラッシュ設定

フラッシュのモードや発光量を変更できます。

フラッシュモード

使用するフラッシュのモードを選べます (📖 51)。

フラッシュ調光補正

撮影目的や撮影条件に合わせて、フラッシュの発光量を変更できます。

設定値

+2	+1 ² / ₃	+1 ¹ / ₃	+1	+ ² / ₃	+ ¹ / ₃	±0	- ¹ / ₃	- ² / ₃	-1	-1 ¹ / ₃	-1 ² / ₃	-2
----	--------------------------------	--------------------------------	----	-------------------------------	-------------------------------	----	-------------------------------	-------------------------------	----	--------------------------------	--------------------------------	----



被写体の条件や撮影距離などによって、発光量の補正効果が得られない場合があります。

赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、「赤目現象」を軽減します。

設定値

ON

OFF



顔が検出できないときは、赤目補正されません。

動画設定

動画撮影に関する設定を変更できます。

動画モード

撮影する動画の画像サイズとフレームレートを変更できます。

設定	説明
4K 2160/15 P ^{*1, 2}	フレームレートが 15 fps の 3840 × 2160 の 4K 動画
FULL HD 1080/59.94 P ^{*1} HD 1080/50 P HD 1080/24 P FULL HD 1080/23.98 P	フレームレートが ^g 59.94fps、50fps、24fps、23.98fps の 1920 × 1080 の動画
SFHD 1080 スクエア 59.94 P SFHD 1080 スクエア 50 P SFHD 1080 スクエア 24 P SFHD 1080 スクエア 23.98 P	フレームレートが ^g 59.94fps、50fps、24fps、23.98fps の 1080 × 1080 の動画
HD 720/59.94 P HD 720/50 P HD 720/24 P HD 720/23.98 P	フレームレートが ^g 59.94fps、50fps、24fps、23.98fps の 1280 × 720 の動画
SFHD 720 スクエア 59.94 P SFHD 720 スクエア 50 P SFHD 720 スクエア 24 P SFHD 720 スクエア 23.98 P	フレームレートが ^g 59.94fps、50fps、24fps、23.98fps の 720 × 720 の動画

*1 電子式手ブレ補正は行いません。

*2 撮影した動画をカメラで再生する場合は、UHS スピードクラス 3 以上のカードをお使いください。

! 内蔵メモリーに記録する場合の工場出荷時設定は **4K 2160/15 P** です。

HD ハイスピード動画

HD ハイスピード動画を設定します。素早く動く被写体の撮影や、肉眼では確認しづらい一瞬のアクションもスローモーションのような映像で楽しむことができます。バッティングのスイング、動きの速い昆虫や水流などの撮影に有効です。

設定	説明
1.6 × 59.94P 100P	フレームレートが 100fps の 1280 × 720 の動画を記録します。再生時はそれぞれ 1.6 倍、2 倍、3.3 倍、4 倍のスロー再生になります。
2 × 50P 100P	
3.3 × 29.97P 100P	
4 × 25P 100P	
OFF	HD ハイスピード動画は撮影しません。



- 音声は記録されません。
- 通常動画に比べて画像サイズが小さくなります。
- 撮影開始と同時にピント、露出、ホワイトバランスが固定されます。
- 高速撮影のため、室内などの暗い場所で撮影すると暗い動画となる場合があります。
- 日中の屋外など明るい場所での撮影をおすすめいたします。
- 撮影後はパソコンでもスロー再生が可能です。

フォーカスモード

撮影する動画のフォーカスモードを変更できます。

設定	内容
コンティニユアス AF	コンティニユアス AF で動画を撮影します。
シングル AF	シングル AF で動画を撮影します。

風音低減

動画撮影時の風音を低減します。

設定値	
ON	OFF

📷 プレ防止モード

手ブレや被写体ブレを軽減します。

設定	説明
📷 ₁ ● 常時+動き認識	常に手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
📷 ₁ ● 常時	常に手ブレ軽減を行います。
📷 ₂ ● 撮影時+動き認識	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
📷 ₂ ● 撮影時	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。
OFF	手ブレ軽減を使用しません。三脚使用時は OFF にすることをおすすめします。



ISO 感度を固定値に設定しているときは、動き認識を行いません。また、その他の設定によって動き認識の設定が無効になる場合があります。被写体の速さや明るさによっては、被写体ブレ軽減の効果が得られない場合があります。

📷 電子式手ブレ補正

動画撮影時の手ブレ補正を使用するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF




ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

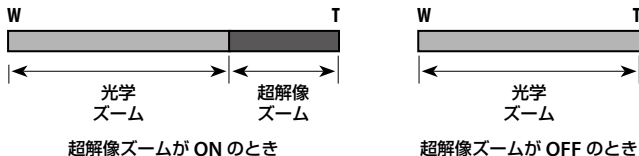
これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。



- 「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。
http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/
- ファンクションボタンに**ワイヤレス通信**を割り当てて（ 102）、 **接続設定** > **共通設定** >  **ボタン設定**を**ワイヤレス通信**に設定しておく、撮影時にファンクションボタンを押してもスマートフォンと通信できます。

🔍 超解像ズーム

ON にすると、デジタル超解像処理によって、ズーム領域拡大時でもシャープな解像感のある画像が撮影できます。光学ズームの望遠端（最大倍率）で **T**（望遠ズーム） ボタンを押すことにより、超解像ズームを使用できます。



設定値

ON

OFF



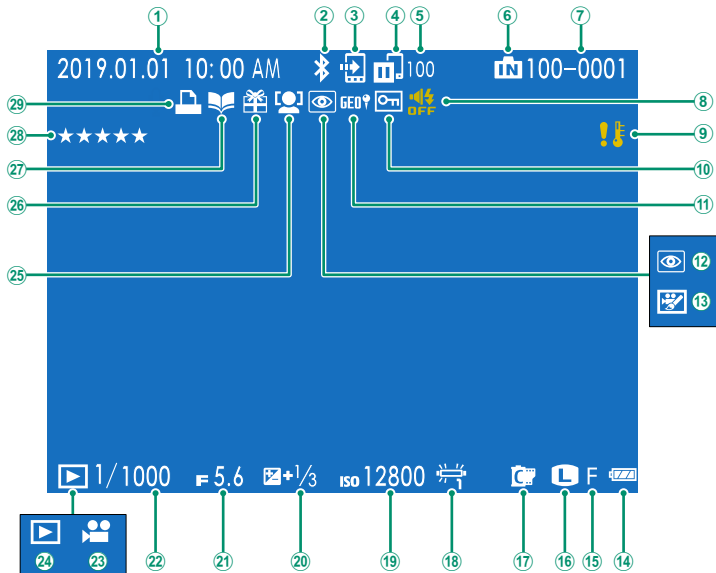
- 超解像ズームを使うと、光学ズームに比べて画質が劣化する場合があります。
- モード変更により、超解像ズームが解除される場合があります。
- 光学ズームと合わせて最大約 10 倍まで拡大できます。
- 超解像ズームを使うと、処理に時間がかかります。
- 撮影画面には、超解像ズームの画像は表示されません。
- 連写や動画撮影では、超解像ズームは使用できません。

7 画像の再生と再生メニュー

再生時の表示画面

再生時は、画面に次の情報が表示されます。

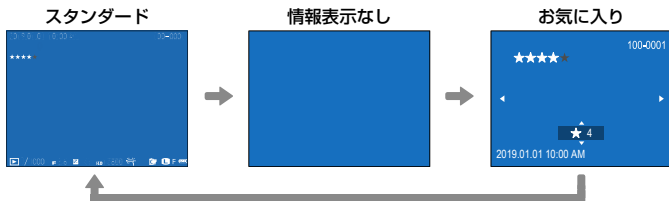
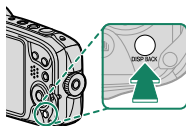
❗ 説明のため情報はすべて表示しています。



- | | | |
|---------------------------|----------------------|------------------------|
| ① 日付・時刻.....21、 90 | ⑪ 位置情報.....98、 100 | ⑳ 絞り値 |
| ② Bluetooth ON/OFF.....98 | ⑫ 赤目補正.....84 | ㉑ シャッタースピード |
| ③ 画像転送予約.....75 | ⑬ 動画加工.....80 | ㉒ 動画アイコン.....32 |
| ④ 画像転送状況.....75 | ⑭ バッテリー残量表示.....20 | ㉓ 再生モード.....27 |
| ⑤ 画像転送予約枚数.....75 | ⑮ 画質モード.....62 | ㉔ 顔検出 / 瞳 AF 設定.....58 |
| ⑥ 内蔵メモリー | ⑯ 画像サイズ.....61 | ㉕ プレゼント.....27 |
| ⑦ コマ NO.....96 | ⑰ FINEPIX カラー.....62 | ㉖ フォトブックアシスト.....85 |
| ⑧ 電子音 & フラッシュ.....91 | ⑱ ホワイトバランス.....65 | ㉗ お気に入り.....72 |
| ⑨ 温度警告.....145 | ⑲ ISO 感度.....60 | ㉘ プリント予約.....88 |
| ⑩ プロテクト.....83 | ㉚ 露出補正.....44 | |

情報表示の切り替え

再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



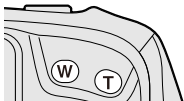
お気に入りにを設定する

1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、**お気に入り**のランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数 (0～5) を設定します。

再生方法

再生画像を拡大表示したり、一覧表示したりできます。

拡大表示や複数画像の一覧表示は、1コマ再生時に
W ボタンまたは **T** ボタンを押します。



1コマ再生画面



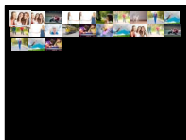
マルチ再生



9コマ再生



マイクロサムネイル再生



再生ズーム

拡大再生1



拡大再生2



拡大表示や複数画像の一覧表示から1コマ再生に戻るには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

再生ズーム

1 コマ再生時に画像をズーム（拡大）できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。



- **W** ボタンを押すと縮小します。
- 最大ズーム倍率は、撮影時の **画像サイズ** によって変わります。
- **リサイズ** または **トリミング** の **640** で保存された画像を再生ズームすることはできません。

ナビゲーションについて

画像の拡大表示中にセレクトボタンを押すと、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



ナビゲーション

マルチ再生

1 コマ再生時に **W** ボタンを押すたびに、9 コマ、100 コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。**T** ボタンを押すたびに表示される画像が減ります。

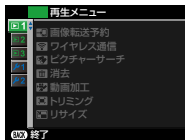


- セレクトボタンを押して画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示できます。
- 9 コマ再生または 100 コマ再生では、セレクトボタンを押し続けると、ページを切り替えることができます。

再生メニュー ([] / [] / [])

画像の再生に関する機能を設定できます。

再生画面で **MENU/OK** ボタンを押して、 [] / [] / []
(再生メニュー) タブを選びます。



画像転送予約

Bluetooth® でペアリングしているスマートフォンに転送する画像を予約できます。

- 1 再生メニューの **画像転送予約** > コマ選択を選びます。
- 2 転送予約する画像を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押して、画像を転送予約します。

手順 2 と 3 を繰り返して、転送したい画像をすべて予約します。

- 4 **DISP/BACK** ボタンを押して、画像の転送予約を終了します。
再生画面に戻ります。

接続設定 > Bluetooth 設定 > Bluetooth ON/OFF が **ON** のときは、再生画面に戻ってしばらくするか、カメラの電源をオフにすると、画像転送予約した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。



- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで転送予約することができます。
- 以下の画像は転送予約できません。
 - プロテクトされている画像
 - 動画
 - プレゼント画像 (他のカメラで撮影した画像)
- **接続設定** > **共通設定** > **ボタン設定**を**ペアリング / 転送予約**に設定しておく、 Wi-Fi ボタンを押しても転送予約できます。
- **画像転送予約** > **予約リセット**を選ぶと、すべての転送予約を解除できます。
- **接続設定** > **Bluetooth 設定** > **撮影後 自動転送予約**を **ON** にして、撮影した画像を自動的に転送予約することもできます。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。


- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。



- 「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。
http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/
- **接続設定** > **共通設定** > **ボタン設定**を**ワイヤレス通信**に設定しておく、再生時に Wi-Fi ボタンを押してスマートフォンと通信できます。

ピクチャーサーチ

再生メニューの  **ピクチャーサーチ**で、画像を検索できます。


1 ピクチャーサーチの検索条件を選びます。




検索条件	内容
日付で検索	指定した撮影日を選んで画像を表示します。
顔で検索	顔が写っている画像を表示します。
★ お気に入りで検索	指定した ★ お気に入りランクの画像を表示します (72)。
撮影シーンで検索	指定した撮影シーンを選んで画像を表示します。
画像タイプで検索	静止画、動画、連写のタイプ別に表示します。

2 MENU/OK ボタンを押して検索条件を決定します。

3 検索条件を絞り込みます。


絞り込む条件を選ぶと、条件に合ったサーチ画面が表示されます。

 サーチ画面を表示した状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、サーチ画像に対する再生メニューが表示され、各操作を実行できます。操作方法は参照ページをご覧ください。

-  消去 (78)
-  プロテクト (83)
-  スライドショー (84)


消去

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。

 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

設定	説明
1コマ	画像を1コマだけ消去します。
複数指定	指定した画像をまとめて消去します。
全コマ	画像がすべて消去されます。

1 コマ消去

- 1 消去メニューから1コマを選びます。
- 2 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。
 -  **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
 - MENU/OK** ボタンを繰り返し押しすと画像が連続して消去されます。消去する画像を選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

- 1 消去メニューから複数指定を選びます。
- 2 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は が表示されます。
 - 選択を解除するときは、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
- 3 まとめて消去する画像を選択指定したあと、**DISP/BACK** ボタンを押します。消去実行画面が表示されます。
- 4 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。



プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、 が表示されます。

全コマ消去

- 1 消去メニューから全コマを選びます。
- 2 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。




- **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
- プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。
- メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード内の画像がすべて消去され、メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像がすべて消去されます。


動画加工

撮影した動画を編集できます。

動画カット

撮影した動画の必要な部分だけを切り出すことができます。切り出した動画は別ファイルで保存されます。

- 1 切り出したい部分がある動画を選びます。
- 2 再生メニューで  動画加工を選びます。
- 3 動画カットを選びます。
- 4 ▼ を押して切り出しを開始するところまで動画を再生し、▼ を押して動画を一時停止します。
開始点が動画の最初の場合は、手順 5 に進んでください。
- 5 MENU/OK ボタンを押して開始点を決定します。
- 6 ▼ を押して切り出しを終了するところまで動画を再生し、▼ を押して動画を一時停止します。
最終点が動画の最後の場合は、手順 7 に進んでください。
- 7 MENU/OK ボタンを押して最終点を決定し、動画を切り出します。

 処理が完了するまで電源をオフにしないでください。

動画連結

後ろに別の動画をつなげて1つの動画にできます。連結した動画は、1つの動画として別ファイルで保存されます。

1 連結したい動画を選びます。

2 再生メニューで  動画加工を選びます。

3 動画連結を選びます。


4 ◀ または ▶ で、後ろにつなげる動画を選びます。



DISP/BACK ボタンを押すと、手順1に戻り、動画の連結をやり直せます。


5 MENU/OK ボタンを押して、動画を連結します。



-  動画モードが異なる動画は連結できません。
- 連結後の動画が4GBを超える場合は、連結できません。
- 処理が完了するまで電源をオフにしないでください。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。


- 1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
- 2 再生メニューの  トリミングを選びます。
- 3 ズームボタン、セレクトボタンで切り抜きたい部分を調整します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
- 5 **MENU/OK** ボタンを押して、トリミングします。



- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、**実行**が黄色で表示されます。

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
- 2 再生メニューの  リサイズを選びます。
- 3 変更するサイズを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。



- 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

1 再生メニューの  プロテクトを選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

設定	説明
設定 / 解除	プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。 <ul style="list-style-type: none"> 手順3のあとに、続けて設定 / 解除する画像を選べます。
全コマ設定	すべての画像がプロテクトされます。
全コマ解除	すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 MENU/OK ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。

4 DISP/BACK ボタンを押して、プロテクトを終了します。

 メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

画像回転


撮影した画像を回転して再生できます。

1 再生画面で回転したい画像を選びます。

2 再生メニューの  画像回転を選びます。

3 セレクターボタンの ▼ (時計回りに 90° 回転) または ▲ (反時計回りに 90° 回転) で画像を回転します。

4 MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。

- ◆ プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
- ◆ 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
- ◆  **表示設定 > 縦横自動回転再生を ON** にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。


赤目補正

人物の赤目を補正できます。赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。

2 再生メニューの  **赤目補正**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、赤目補正を開始します。

- ◆ 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じたりすることがあります。
- ◆ 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- ◆ 赤目補正済みの () 画像は、それ以上赤目補正できません。

スライドショー


撮影した画像を順番に自動再生します。**MENU/OK** ボタンを押すと、スライドショーを開始 / 終了します。**DISP/BACK** ボタンを押すと、スライドショー終了のガイダンスを表示します。◀または▶で、コマ送りします。

- ◆ スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1 再生メニューの  フォトブックアシストを選びます。

2 新規 BOOK を選び、MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 画像を選択します。

▲ で表示されている画像を選択または選択解除し、▼ で表示されている画像を表紙にします。



- 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
- 最初に選択した画像は、自動的に表紙と 1 枚目の画像になります。表紙は、あとからでも変更できます。

4 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。

5 作成終了を選びます。

全て選択を選ぶと、全画像がフォトブック作成中の画像として選択されます。

6 MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。



- フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
- 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。◀または▶で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

- 1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 編集または削除を選びます。
 - **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。
 - **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。
- 3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

PC 保存

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。この機能を使用するには、保存先のパソコンにあらかじめ最新の PC アプリケーション「FUJIFILM PC AutoSave」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。



「FUJIFILM PC AutoSave」については、以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/pc_autosave/

COPY 画像コピー

カメラの内蔵メモリーとカメラに装着したメモリーカード間で、画像をコピーできます。

1 再生メニューで **COPY** 画像コピーを選びます。

2 コピーの方法を選びます。

- **IN** カメラ → **SD** カード：内蔵メモリーからメモリーカードにコピー
- **SD** カード → **IN** カメラ：メモリーカードから内蔵メモリーにコピー

3 ▶ を押します。

4 1 コマまたは全コマを選びます。

- 1 コマ：表示中の画像をコピー



手順5のあとに ◀ または ▶ で、続けてコピーする画像を選べます。

- 全コマ：すべての画像をコピー

5 MENU/OK ボタンを押して、コピーを開始します。



- コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。
- **PR** プリント予約 (DPOF) していた画像をコピーした場合、プリント予約の設定はコピーされません。

🖨️ プリント予約 (DPOF)

プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておくと、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。

1 再生メニューの 🖨️ プリント予約 (DPOF) を選びます。

2 日付の有無を設定します。

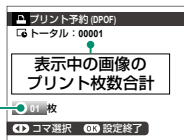
設定	説明
日付あり設定	撮影日を印字します。
日付なし設定	撮影日を印字しません。
全コマ解除	現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。

3 DPOF 指定する画像を選びます。

4 プリント枚数を選びます (最大 99 枚)。



DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。



プリント枚数


5 プリントしたいすべての画像に対して手順 3 と 4 を行います。

6 合計枚数を確認して、もう一度 MENU/OK ボタンを押します。



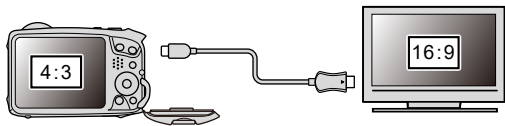
- 内蔵メモリーに記録している画像の DPOF 指定を変更するときは、メモリーカードを取り出してください。
- DPOF 指定 (プリント予約) した画像には、再生時に 🖨️ が表示されます。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

instax プリンタープリント


別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます（ 113）。

表示比率

4:3 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



		設定	
		16:9	4:3
イメージ			

 **16:9** で撮影された画像は **16:9** に設定してください。**4:3** で撮影された画像を再生すると、左右に黒い枠が表示されます。

8 セットアップメニュー

セットアップメニュー (**μ1** / **μ2**)

カメラの基本的な設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**μ1** / **μ2** (セットアップ) タブを選びます。





日時設定






日付と時刻を設定します ( 23)。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
 ホーム	現在設定されている日時を表示します。
 現地	旅行先の日時を表示します。

現地時間の設定方法

-  現地を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
-   で設定する項目(+/-、時、分)を選び、  で設定する数字を選びます。
- MENU/OK** ボタンを押します。

  現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に  と日時が約3秒間黄色で表示されます。




言語/LANG.

メニューなどを表示する言語を設定します (📖 23)。

リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

1 リセットするメニューを選び MENU/OK ボタンを押します。

設定	説明
撮影メニューリセット	撮影メニューがリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの  日時設定、  世界時計、  接続設定の接続に関する設定以外がリセットされます。

2 確認画面で実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。

電子音 & フラッシュ

OFF にすると、フラッシュや AF 補助光ランプが発光禁止になり、操作音や動画の再生音がオフになります。セルフタイマーランプも発光しません。

設定値	
ON	OFF





 OFF に設定すると、画面に  が表示されます。

音設定

音に関する設定を変更できます。





操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。




シャッター音量

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

シャッター音

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
 1サウンド 1	シャッター音 1 に設定します。
 2サウンド 2	シャッター音 2 に設定します。
 3サウンド 3	シャッター音 3 に設定します。

再生音量

動画再生時の音量を設定します。

設定	説明
10 ~ 1	音量を 1 ~ 10 に設定します。
0	音量をオフに設定します。

表示設定

画面表示に関する設定を変更できます。

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターボタンを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、 OFF になります。
OFF	表示しません。



- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。
- 撮影モードや撮影の設定によっては、撮影後必ず撮影結果が表示されます。

LCD 明るさ

LCD（液晶モニター）の明るさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5


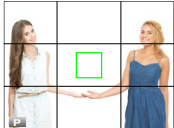

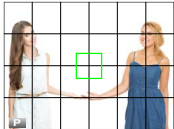

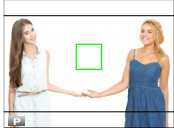
LCD 鮮やかさ


LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	説明	イメージ
 方眼 9 分割	縦横にガイド線が表示されます (9 コマ)。	
 方眼 24 分割	縦横にガイド線が表示されます (24 コマ)。	
 HD フレーミング	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。	

 フレーミングガイドは工場出荷時の設定では表示されない設定になっています。フレーミングガイドを表示する方法は「画面のカスタマイズ」をご覧ください (📖 8)。

縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

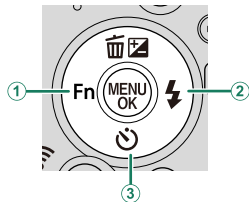
設定値	
ON	OFF

画面のカスタマイズ

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目を設定できます (📖 8)。

Fn (ファンクション) 設定

Fn (ファンクション) ボタン (①)、⚡ (フラッシュ) ボタン (②)、⌚ (セルフタイマー) ボタン (③) に割り当てる機能を設定できます (📖 103)。



消費電力設定

消費電力に関する設定を変更できます。

自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2分	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

ハイパフォーマンス

ON にすると、カメラの再起動時の立ち上げ速度が速くなります。

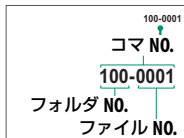
設定値	
ON	OFF

保存設定

画像の保存に関する設定を変更できます。

コマ NO.

メモリーカードを交換したときのコマ NO. (フォルダ NO. - ファイル NO.) の付け方を選びます。






設定	説明
連番	メモリーカードまたは内蔵メモリー内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。




- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- リセットを行ってもコマ NO. はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

日付書き込み

撮影した日付と時刻を、画像に写し込むかどうかを設定します。

設定	説明
 + 	撮影した日付と時刻を、画像に写し込みます。
	撮影した日付を、画像に写し込みます。
OFF	日付や時刻を写し込みません。



- 画像に写し込まれた日付や時刻は消去できません。日付や時刻がない画像を撮影する場合は、**日付書き込み**を **OFF** に設定してから撮影してください。
- 日時設定が行われていない場合は、日時の設定画面が表示されます。日時の設定を行ってください (📖 21、23)。
- 日付書き込みを行った場合は、 **プリント予約 (DPOF)** の設定を**日付なし設定**にすることをおすすめします (📖 88)。
- 4K 連写、パノラマ写真、および動画に日時と時刻を写し込むことはできません。

📶 接続設定

スマートフォンやパソコン、FUJIFILM instax SHARE プリンターなどの無線 LAN 接続に関する設定を変更できます。



無線通信の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

Bluetooth 設定

Bluetooth 接続に関する設定を行います。

サブメニュー	内容
ペアリング登録	スマートフォンにインストールされている「FUJIFILM Camera Remote」の ペアリング登録 を押し、ペアリングを開始します。
ペアリング 接続先選択	ペアリング登録 で登録したスマートフォンの中から接続するスマートフォンを選びます。 接続なし を選ぶとスマートフォンとのペアリングは行いません。
ペアリング削除	ペアリング登録されているスマートフォンの情報を削除できます。削除するスマートフォンを選んでください。削除されたスマートフォンは ペアリング接続先選択 のリストからも削除されます。
Bluetooth ON/OFF	<ul style="list-style-type: none"> ON : カメラの電源をオンにすると、常にペアリング登録されているスマートフォンと Bluetooth 接続します。 OFF : Bluetooth 接続しません。
撮影後 自動転送予約	<ul style="list-style-type: none"> ON : 撮影後に画像を転送予約します。転送予約できる画像は JPEG のみです。 OFF : 撮影後に画像を転送予約しません。
常時転送	<ul style="list-style-type: none"> ON : 再生時、電源 OFF 時、および撮影後に画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。 OFF : 再生画面に戻ってしばらくするか、カメラの電源をオフにしたときのみ、撮影した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
スマートフォン 同期設定	<p>ペアリング登録されているスマートフォンと同期する内容を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 位置情報 & 日時 : 位置情報と日時を同期します。 位置情報 : 位置情報のみを同期します。 日時 : 日時のみを同期します。 OFF : スマートフォンと同期しません。



- スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。
- Bluetooth ON/OFF** と **撮影後 自動転送予約** がともに **ON** で、**常時転送** が **OFF** のときは、再生画面に戻ってしばらくするか、カメラの電源をオフにすると、撮影した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
- 撮影後 自動転送予約** が **OFF** の場合は、再生メニューの **画像転送予約** で、転送予約する画像を選んで転送予約することもできます。

PC 保存

PC 保存に関する設定を行います。

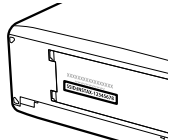
サブメニュー	内容
PC 保存先設定	<ul style="list-style-type: none"> 簡単設定：無線 LAN ルーターに簡単接続 (WPS) で接続し、保存先 (PC) を設定します。 手動設定：無線 LAN ルーターにマニュアル操作で接続し、保存先 (PC) を設定します。無線 LAN ルーター選択、SSID 入力を手動で行います。
保存先削除	設定されている PC 保存の保存先を削除できます。削除する保存先を選んでください。
前回接続情報	直前に接続した PC 保存の保存先の情報が表示されます。

instax プリンター接続設定

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します。






プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



共通設定

無線 LAN 機能に関する共通設定を変更できます。

サブメニュー	内容
名前	無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。
スマートフォン送信時  圧縮	スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。 スマートフォン送信時  圧縮 を ON にして画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。 <ul style="list-style-type: none"> • ON：画像サイズを  に圧縮して送信します。ON でのご使用をおすすめします。 • OFF：元画像のサイズのままです送信します。
位置情報記録	スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録させるかどうかを設定します。
位置情報表示	スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。
 ボタン設定	撮影時に ワイヤレス通信 を割り当てたファンクションボタンを押したとき、または再生時に  Wi-Fi ボタンを押したときのカメラの動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • ペアリング / 転送予約：ペアリング未設定時は、Bluetooth 設定画面を表示します。ペアリング設定時は、転送予約などを行います。 • ワイヤレス通信：ワイヤレス通信のボタンとして機能します。


情報表示

カメラ本体の MAC アドレスと Bluetooth アドレスを表示します。

ワイヤレス設定初期化

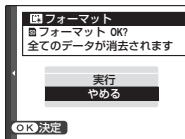
無線通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。

フォーマット

カメラにメモリーカードが入っているときは、メモリーカードをフォーマット(初期化)します。メモリーカードが入っていないとき(が表示されているとき)は、内蔵メモリーをフォーマットします。

1 セットアップメニューの  フォーマットを選びます。

2 MENU/OK ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



3 実行を選び、MENU/OK ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。



確認画面でやめるを選んだ状態で MENU/OK ボタンを押したり、DISP/BACK ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。



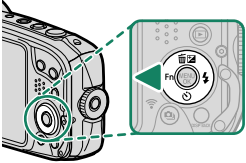
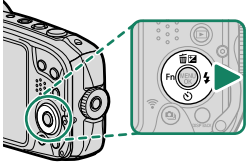
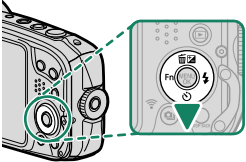
- プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

9 ショートカット機能

Fn (ファンクション) ボタン

各ファンクションボタンにはそれぞれ機能を1つ割り当てられます。ファンクションボタンを押すだけで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出したりできます。

工場出荷時に割り当てられている機能は以下のとおりです。

Fn (ファンクション) ボタン	⚡ (フラッシュ) ボタン
 <p data-bbox="211 636 428 656">アドバンスフィルター</p>	 <p data-bbox="660 636 816 656">フラッシュモード</p>
 <p data-bbox="194 674 449 695">⌚ (セルフタイマー) ボタン</p> <p data-bbox="252 928 391 948">セルフタイマー</p>	

ファンクションボタンの割り当て変更

ファンクションボタンの割り当ては、セットアップメニューの **Fn ファンクション (Fn) 設定** で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 感度
- セルフタイマー
- 画像サイズ
- スクエアモード (1:1)
- 画質モード
- アドバンストフィルター
- FINEPIX カラー
- ホワイトバランス
- フォーカスモード
- フォーカスエリア選択
- 美肌レベル
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- 動画モード
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- ワイヤレス通信
- 撮影後自動転送予約
- ペアリング接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- なし



- **なし**を選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。
- 機能の割り当ては、ファンクションボタンまたは **DISP/BACK** ボタンを長押ししても変更できます。
- アドバンストフィルターが割り当てられているファンクションボタンを押すと、アドバンストフィルター選択画面になります。アドバンストフィルターを選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、アドバンストフィルターが設定されます。元の撮影モードに戻るには、**DISP/BACK** ボタンを押すか、撮影モードの変更を行ってください。

10 オプション品の使い方

カメラで使えるアクセサリー

別売アクセサリー

このカメラでは、以下の富士フィルム製別売アクセサリーを使用できます。最新情報については、<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html>をご覧ください。

充電式バッテリー NP-45S：リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。



instax SHARE プリンター SP-1/SP-2/SP-3：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

11 他機器との接続

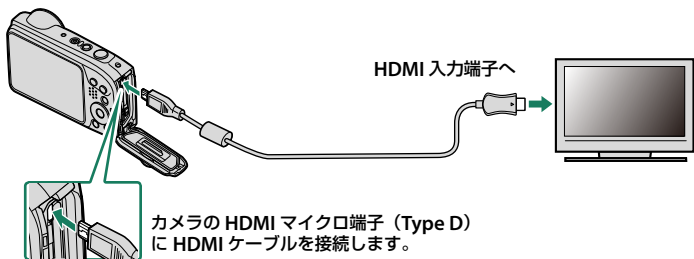
HDMI 出力

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続して再生画面を出力できます。

HDMI 機器との接続

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続します。

- 1 カメラの電源をオフにします。
- 2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



- 3 テレビの入力を HDMI 入力に切り替えます。
テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。

- 4** ▶ (再生) ボタンを長押しして、カメラの電源をオンにします。
カメラの画面表示が消え、画像がテレビに再生されます。



- ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
- HDMI ケーブルは、長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。



- HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。
- 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

無線通信で接続

(Bluetooth® / 無線 LAN (Wi-Fi))

カメラとスマートフォンやパソコンを無線で通信できます。無線通信の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

スマートフォンと通信する (FUJIFILM Camera Remote)

カメラとスマートフォンは、Bluetooth または無線 LAN の 2 つの方法で接続できます。



カメラとスマートフォンを無線で通信するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。

FUJIFILM Camera Remote について

通信後は、「FUJIFILM CameraRemote」を使って以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信
- スマートフォンでカメラのシャッターをきる
- カメラのファームウェアアップデート

「FUJIFILM Camera Remote」については以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

Bluetooth® でスマートフォンとペアリングする

Bluetooth 接続設定 > Bluetooth 設定のペアリング登録で、スマートフォンとカメラをペアリングできます。スマートフォンとペアリングすると、スマートフォンへ画像を簡単に転送できます。



- 画像の転送は無線 LAN による通信で行われます。
- ペアリングすると、スマートフォンの位置情報や日時をカメラに同期できます (p.98)。
- **Bluetooth** 接続設定 > 共通設定 > Wi-Fi ボタン設定をペアリング / 転送予約に設定しておく、撮影時はワイヤレス通信を割り当てたファンクションボタン (p.102)、再生時は Wi-Fi ボタンを押すと、ペアリングを行えます。ペアリング設定時は、転送予約などが行えます。

無線 LAN でスマートフォンと通信する

撮影 / 再生メニューの **ワイヤレス通信** で、無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。



- **ワイヤレス通信** 接続設定 > 共通設定 > Wi-Fi ボタン設定をワイヤレス通信に設定しておく、撮影時はワイヤレス通信を割り当てたファンクションボタン (p.102)、再生時は Wi-Fi ボタンを押すと、無線 LAN でスマートフォンと通信できます。

パソコンに画像を保存する (FUJIFILM PC AutoSave)

カメラとパソコンは、無線 LAN (Wi-Fi) で接続できます。カメラとパソコンを接続するためにあらかじめパソコンへ専用のアプリケーションをインストールしてください。

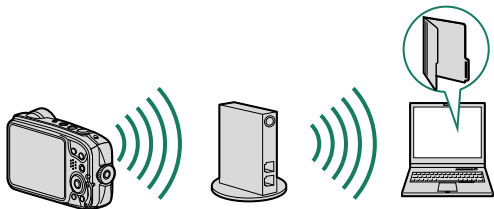
FUJIFILM PC AutoSave

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存するには、保存先のパソコンにあらかじめ最新の PC アプリケーション「FUJIFILM PC AutoSave」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。「FUJIFILM PC AutoSave」については以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/pc_autosave/

パソコンに画像を保存

再生メニューの  **PC 保存** で、無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。



USB ケーブルでパソコンと接続

USB ケーブルでパソコンに接続すると、パソコンに画像を転送できます。

Windows をお使いの方 (MyFinePix Studio)

Windows をお使いの方は「MyFinePix Studio」を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。「MyFinePix Studio」は、以下のサイトからダウンロードしてください。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

ダウンロードしたファイル「MFPS_Setup.EXE」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。表示される指示にしたがって、インストールしてください。

Mac OS X / macOS をお使いの方

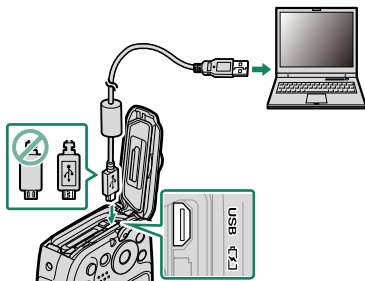
Mac OS X/macOS をお使いの方は、OS 標準アプリケーションの「イメージキャプチャ」などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。

! ファイルサイズが 4GB を超える場合は、カードリーダーでファイルを取り込んでください。

カメラとパソコンを接続する

USB ケーブルでカメラとパソコンを接続します。

- 1 パソコンを起動します。
- 2 カメラの電源をオフにします。
- 3 USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



- USB ケーブルは、付属のものをご使用ください。
- カメラ側の端子はマイクロ USB (Micro-B) USB2.0 です。

- 4 (再生) ボタンを長押しして、カメラの電源をオンにします。
- 5 「MyFinePix Studio」や OS 標準のアプリケーションなどで、画像をパソコンに取り込んでください。
- 6 画像の取り込みが完了したら、カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外します。



- USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカードまたは内蔵メモリー内のデータが破壊されることがあります。
- 内蔵メモリーの画像を転送する場合は、メモリーカードを取り出してください。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの通信時には、USB ケーブルを抜かないでください。メモリーカードや内蔵メモリーのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
- 画像転送機能を使用中にメモリーカードを交換するときは、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

instax SHARE プリンターと接続

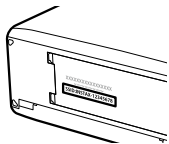
別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。

プリンターとの接続を設定する

📶 接続設定の **instax プリンター** 接続設定を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



画像をプリントする

- 1 プリンターの電源を入れます。
- 2 再生メニューの  instax プリンタープリント を選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



- 3 プリントしたい画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターのタイプによって、操作画面が変わることがあります。

- 4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

12 資料

カメラで使えるソフトウェア

このカメラでは、以下の富士フィルム製ソフトウェアを使用できます。

FUJIFILM Camera Remote

カメラとスマートフォンを無線で通信できるスマートフォンアプリケーションです (📖 107)。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

FUJIFILM PC AutoSave

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できるパソコン用アプリケーションです (📖 109)。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/pc_autosave/

MyFinePix Studio

画像管理ソフトウェアです。デジタルカメラで撮影した大量の画像を簡単に管理、閲覧、プリントでき、またアップロードや画像編集などを楽しむこともできます (📖 110)。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください


安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。


- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。


 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告



電源プラグを抜く

異常が起きたら電源を切り、電池、バッテリーや AC パワーアダプター、USB ケーブルを外す。

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。

カメラ内部や接続コードに水や異物を落とさない。

カメラ内部や接続コードを水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らした場合は使用しないでください。



水ぬれ禁止

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプター、USB ケーブルを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。

警告



風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない（防水機能付機種を除く）。

火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをしたりする原因になります。

・感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。



コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

・コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。

・一度端子部分が曲がってしまったコネクタは使用しないでください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。



移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性（ \oplus \ominus ）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、たたいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・やけどの原因になります。

警告

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したりしたときは、失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。



視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。

カメラの温度が高い部分に長時間触れない。



低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合、三脚などをお使いください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

電源を入れたまま長時間、身体の同じ個所に直接触れて使用しない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合、三脚などをお使いください。



- 長時間ご使用になる場合
- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。



可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。



電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼る。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。



メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 警告



混雑した場所（満員電車の中など）では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る。

本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える可能性があります。



自動制御機器（自動ドアや火災報知機など）の近くでは電源を切る。

本製品からの電波が自動制御機器に影響を与える可能性があり、誤動作による事故の原因になります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm 以上離すこと。

本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になったりすることがあります。



レンズまたはカメラで直接太陽をみない。

失明や視力障害になる恐れがあります。



フラッシュを目に近づけて発光させない。

視力障害になる恐れがあります。

特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。



飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。



本製品の上に重いものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。

⚠ 注意

AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。

電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるんでいたりするときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。



充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

コンセントにつけたままにしておく火災の原因になることがあります。

電源プラグを
抜く



メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。



本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

・ 2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。



フラッシュ発光部に指などを触れたまま発光しないこと。

やけどの危険があります。



フラッシュ発光部を汚したり、物でふさいだまま発光しないこと。

発煙や変色の原因になります。

逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。



太陽光がカメラ内部に直接入ることで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。

転倒したり、ぶつかったりしてけがの原因になることがあります。

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■ バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前(1～2日前)に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロなどをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

- 充電は周囲の温度が0℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
- +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなる場合があります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります。異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
 - 周囲の温度が +15℃～+25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
 - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

Ⓜ 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

■ 電池の廃棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBR C」のホームページをご参照ください。

<http://www.jbr c.com/>

■ AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。

弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。AC パワーアダプターに関しての詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
詳細は <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> をご覧ください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意

■ 撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はお利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Mac、OS X、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士フイルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。
- HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けしないでください。撮像素子が破損する場合があります。

■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカード / 内蔵メモリーについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- スポンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■ 内蔵メモリーについて

- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- 修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ メモリーカード、または内蔵メモリーをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカード、または内蔵メモリーを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。

- パソコンでメモリーカード、または内蔵メモリーのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカード、または内蔵メモリーがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

無線 LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

重要！ 本製品に搭載されている無線 LAN/Bluetooth 機能をご使用になる前に必ずお読みください。



本製品は、米国輸出規則（EAR）の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN/Bluetooth 機器としてお使いください。

無線 LAN/Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN/Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときにはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。

本製品の無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ セキュリティについて

無線 LAN/Bluetooth 機能は電波を使って通信するため、有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

- 本製品に使用権限のない（知らない）ネットワークが表示されても接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。
- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
 - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

2.4DS/OF4

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。

2.4XX4

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用するその他の変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。

■ 本製品を飛行機の中で使用しないでください。

Bluetooth 機能は、電源を切っても機能が働く場合があります。Bluetooth 機能を停止させるためには、

 **接続設定 > Bluetooth 設定 > Bluetooth ON/OFF を OFF に設定してください。**

お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のよう
にお手入れすることをおすすめします。

- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブロワーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。

ファームウェア更新情報

本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種 of ファームウェア更新情報をご覧ください。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/>

ファームウェアバージョンの確認方法

❗ バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないと確認ができませんので、ご注意ください。

- 1 カメラの電源をオフにします。
メモリーカードが入っていることを確認します。
- 2 **DISP/BACK** ボタンを押しながら電源をオンにすると、バージョンが表示されます。
- 3 バージョンの確認ができたなら、電源をオフにしてください。

トラブルシューティング / FAQ



カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

浸水してしまったとき

症状	ここをチェック！	処置	📖
浸水について	誤って、水中でバッテリーカバーを開けてしまいました。 バッテリーカバーが完全に閉じていないときに、水につけてしまいました。	電源を入れずに、そのまま弊社サービスセンターに修理をご依頼ください。	157

電源とバッテリー

症状	ここをチェック！	処置	📖
バッテリー、電源について	ON/OFF（電源）ボタンを押す、または再生ボタンを長押ししても電源がオンになりません。	充電済みのバッテリーを使ってください。	16
		バッテリーを正しい向きで入れていますか？	12
		バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	
	バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていますか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。
	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—

	症状	ここをチェック！	処置	
バッテリー、電源について	バッテリーの消耗が早いです。	フォーカスモードを自動追尾に設定していませんか？	バッテリーを長持ちさせたい場合は、フォーカスモードを自動追尾以外に設定して撮影してください。	49
		撮影モードが  に設定されていませんか？	撮影モードを変更してください。	34
		同じバッテリーを長時間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性があります。新品のバッテリーと交換してください。	—
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	16
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	—
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	12
		プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	プラグを正しくコンセントに接続してください。	16
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていますか？	低温時は、充電時間が長くなるときがあります。	—
	充電中にセルフタイマーランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	12
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	104 157
		バッテリーの温度が高すぎたり低すぎたりしていませんか？	バッテリーの温度が安定してから再度充電し直してください。	16

メニューなどの設定時

症状	ここをチェック！	処置	📖
メニューが日本語以外で表示されています。	言語/LANG. が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を日本語にしてください。	23 91

撮影時

症状	ここをチェック！	処置	📖
基本撮影について	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	12 78
	メモリーカード、内蔵メモリーはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	101
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
	メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	12
	バッテリー残量が少なくなっていないですか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	16
	電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	19
	シャッターボタンを半押しすると、LCDにノイズが見えます。	被写体が暗かったりしていませんか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているので、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。

	症状	ここをチェック！	処置	📖
プリントアウト	プリントを合わせられません。	オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	50
顔検出	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	58
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いている方が、検出しやすくなります。	—
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えた方が、検出しやすくなります。	—
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
	プリントを合わせたい顔にプリントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にプリントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔検出を使わずに AE/AF ロック撮影してください。	50
動画や4K連写	4K 連写および動画が撮影できません。	スピードクラスの性能が低いメモリーカードを使用していないませんか？	UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。	15 29 46

	症状	ここをチェック！	処置	📖
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	フラッシュが使用できる設定に変更してください。	51
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	16
		連写設定が連写になっていませんか？	連写設定を 1コマ撮影 に設定してください。	45
		電子音 & フラッシュが OFF に設定されていませんか？	電子音 & フラッシュを ON にしてください。	91
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	電子音 & フラッシュが OFF に設定されていませんか？	電子音 & フラッシュを ON にしてください。	91
フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	—	
	フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	—	
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズ保護ガラスに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズ保護ガラスを清掃してください。	—
		レンズ保護ガラスに指などがかかっていますか？	レンズ保護ガラスに指がかからないようにしてください。	25
		撮影時に AF フレーム (赤点灯) と !AF が表示されていませんか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	26
		撮影時に ! が表示されていませんか？	手ブレの可能性があります。フラッシュ撮影をするか、三脚を使用してください。	51

	症状	ここをチェック！	処置	📖
撮影した画像の異常について	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影していませんか？	撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。	—
	画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用していませんか？	しばらく電源オフにしたあとでご利用ください。	19
温度警告が表示されていませんか？		145		
位置情報について	実際と異なる緯度経度情報が表示されます。	位置情報を取得した場所から移動していませんか？	位置情報を再取得してください。	—

再生時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
1コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像ではありませんか？	リサイズした画像は、再生ズームができません。	—
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができません。	—

	症状	ここをチェック！	処置	📖
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	92
		動画撮影時にマイクを手などでふさいでいませんか？	動画撮影時はマイクをふさがないでください。	—
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないでください。	—
		電子音 & フラッシュが OFF に設定されていませんか？	電子音 & フラッシュを ON にしてください。	91
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	83
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマナンバーについて	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	96

接続時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。	105
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「HDMI」にしてください。	
	テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。		
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	110
	撮影した画像ファイルがパソコンに取り込めません。	「MyFinePix Studio」を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？	「MyFinePix Studio」(Windows) を使って、画像を取り込んでください。	


無線 LAN 通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のサイトをご覧ください。
<http://digitalcamera.support.fujifilm.jp/app/>

	症状	ここをチェック！	処置	📖
	スマートフォンで受信した画像が開けません。	スマートフォン送信時 3M 圧縮を OFF に設定していませんか？	スマートフォン送信時 3M 圧縮を ON にしてください。また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	100




症状	ここをチェック！	処置	📖
スマートフォンと接続 できません。 スマートフォンとの 接続 / 送信に時間がかかります。 画像送信が途中で失敗 / 切断 します。	スマートフォンとの距離が 離れていませんか？	スマートフォンを 近づけてご使用ください。	107
	電子レンジやコードレス電話 機などの機器を近くでご使用 されていませんか？	それらの機器から離れて ご使用ください。	
スマートフォンに送信 できません。	相手先のスマートフォンが すでに別のカメラと 接続していませんか？	スマートフォンもカメラも 一度に接続できる相手は 1 台 のみです。 別のカメラとの接続を終了し てから、やり直してください。	—
	スマートフォンが近距離に 複数台ありませんか？	操作をはじめからやり直して ください。 周囲に複数台のスマート フォンがあると、つながりに くい場合があります。	—
スマートフォンに送信 できません。	動画が選択されていませんか？ (カメラ内閲覧機能の使用時)	動画の送信には時間がかかる 場合があります。またスマート フォンで再生できない動画 の場合は動画モードを HD (1280×720) 以下のサイズに 設定してください。 カメラ内閲覧機能については 以下のサイトをご覧ください。 http://app.fujifilm-dsc.com/ jp/camera_remote/	
	他のカメラで撮影した画像が 選択されていませんか？	このカメラで撮影した画像 を送信してください。他の カメラで撮影した画像は送信 できない場合があります。	

その他

	症状	ここをチェック！	処置	
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起している可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	12
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	16
	カメラが正常に作動しなくなりました。	無線 LAN に接続していませんか？	無線 LAN を解除してください。	—
音について	音が出ません。	一時的に誤作動を起している可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	12 157
		音設定 で消音に設定していませんか？	各設定の音量を調整してください。	92
日付と時刻について	保存設定の日付書き込み で写し込んだ日時が正しくない。	電子音 & フラッシュ が OFF に設定されていませんか？	電子音 & フラッシュ を ON にしてください。	91
		日時設定は正しく設定されていますか？	日時設定をやり直してください。	23 90
	撮影画像に日付や時刻が入っている。	保存設定の日付書き込み が設定されていませんか？	写し込まれた日付や時刻は消去できません。日付や時刻がない画像を撮影する場合は、 日付書き込み を OFF に設定してから撮影してください。	97





警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態です。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚のご使用をおすすめします。
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none">静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none">電源を入れ直してください。電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で 画像コピー を選びました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください。

警告表示	警告内容	処置
フォーマットされていません	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。 メモリーカードが壊れています。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
プロテクトされたカードです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。

警告表示	警告内容	処置
<p>🔊 空き容量がありません</p> <p>🔊 空き容量がありません</p> <p>メモリーがいっぱいです カードを入れてください</p>	<p>メモリーカードまたは 内蔵メモリーに空き容量が ないため、画像を記録 / コピー できません。</p>	<p>画像を消去するか、空き容量の あるメモリーカードを使用し てください。</p>
記録できませんでした	<p>メモリーカードとカメラ本体の 接触異常またはメモリーカード の異常のため記録できません。</p>	<p>メモリーカードを入れ直すか電 源のオン / オフを繰り返してく ださい。それでも復帰できないと きは、弊社修理サービスセンター に修理をご依頼ください。</p>
	<p>画像を記録する空き容量が ありません。</p>	<p>画像を消去するか、空き容量の あるメモリーカードを使用し てください。</p>
	<p>メモリーカードまたは 内蔵メモリーがフォーマットされ ていません。</p>	<p>メモリーカードまたは 内蔵メモリーをカメラで フォーマットしてください。</p>
枚数制限をこえています	<p>5000 枚以上の画像をピクチャー サーチしようとしてしました。</p>	<p>5000 枚以上の画像はピクチャー サーチできません。</p>
	<p>複数指定消去を枚数制限以上の 画像で実行しようとしてしました。</p>	<p>999 枚を超える画像では、 複数指定消去は実行できません。</p>
コマ NO. の上限です	<p>コマ NO. が「999-9999」に達 しているため、これ以上撮影で きません。</p>	<p>フォーマットしたメモリーカード をカメラに入れて、コマ NO. を 新規に設定します。撮影する と、保存設定のコマ NO. が 「100-0001」から付けられます。 コマ NO. を連番に戻すと、引き 続き撮影できます。</p>
再生できません	<p>正常に記録されていない ファイルを再生しようと しました。もしくは他のカメラ で記録した静止画または動画を 再生しようとしてしました。</p>	<p>このファイルは再生できません。</p>

警告表示	警告内容	処置
再生できません	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> プロテクトされているファイルを消去しようとした。 プロテクトされているファイルを回転しようとした。 	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください。
 画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がないときに、メモリーカードまたは内蔵メモリーへ画像をコピーしようとした。	コピーする画像がないため、画像をコピーすることはできません。
 画像がありません		
 トリミングできません	 の画像をトリミングしようとした。	トリミングできない画像です。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとした。	
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。

警告表示	警告内容	処置
M 実行できません	M 、 S 、 640 の画像を M にリサイズしようとしてしました。	これらの場合、リサイズはできません。
S 実行できません	S 、 640 の画像を S にリサイズしようとしてしました。	
640 実行できません	640 の画像を 640 にリサイズしようとしてしました。	
設定できません 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしてしました。	これらの画像、動画はプリント予約ができません。
回転できません 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしてしました。	これらの画像、動画は回転ができません。
実行できません 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしてしました。	これらの画像、動画は赤目補正ができません。
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。 パソコンまたは USB ケーブルの接続を確認してください。
バッテリーカバーがロックされていることを確認してください。	バッテリーカバーのロックを確認するメッセージが表示されます。	注意を促すものであり、故障ではありません。
!	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。

標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体	SDメモリーカード			
			8GB		16GB	
画質			FINE	NORMAL	FINE	NORMAL
静止画	4:3		1000	1590	2000	3190
	2160/15P		13分		26分	
動画	1080/59.94P, 50P, 24P, 23.98P		27分		55分	
	1080 スクエア 59.94P, 50P, 24P, 23.98P		47分		95分	
	720/59.94P, 50P, 24P, 23.98P		52分		105分	
	720 スクエア 59.94P, 50P, 24P, 23.98P		89分		178分	

*1 動画を撮影するときは、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをご使用ください。

*2 連続して記録する場合、ファイルサイズが4GBを超える場合や撮影時間が約29分を超える場合は、自動的に撮影を停止します。











































温度保護機能について

カメラやバッテリーの温度が上昇すると、カメラを保護するために自動的に電源がオフになる場合があります。温度警告が表示された場合は、画像にノイズが多くなる可能性があります。一度、電源をオフにし、しばらくたってからご使用ください (p.145)。

主な仕様

システム

製品名	FinePix XP140 シリーズ	
有効画素数	約 1635 万画素	
撮像素子	1/2.3 型、正画素 CMOS、原色フィルター採用	
記録メディア	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵メモリー (約 90MB) SD/SDHC/SDXC メモリーカード (弊社推奨品) 	
記録方式	<ul style="list-style-type: none"> 静止画 : DCF 準拠 圧縮 : Exif Ver.2.3 JPEG 準拠 / DPOF 対応 動画 : H.264 規格準拠 (MOV)、リニア PCM (疑似ステレオ) 	
記録画素数	L 4:3 (4608×3456) M 4:3 (3264×2448) S 4:3 (2048×1536) L 16:9 (4608×2592) M 16:9 (3264×1840) S 16:9 (1920×1080) CALS CALS (1280×960) L パノラマ縦 (5760×1632) M パノラマ縦 (3840×1632)	L 3:2 (4608×3072) M 3:2 (3264×2176) S 3:2 (2304×1536) L 1:1 (3456×3456) M 1:1 (2432×2432) S 1:1 (1728×1728) L パノラマ横 (5760×1088) M パノラマ横 (3840×1088)
レンズ	<ul style="list-style-type: none"> 名称 : フジノン光学式 5 倍ズームレンズ 焦点距離 : f=5.0mm ~ 25.0mm (35mm フィルム換算 : 約 28mm ~ 約 140mm 相当) 開放 F 値 : F3.9 (広角) ~ F4.9 (望遠) 	
デジタルズーム	超解像ズーム 最大約 2 倍 (光学 5 倍ズームと併用 最大約 10 倍)	

システム		
絞り	F3.9/F6.2 (広角)、F4.9/F8.0 (望遠)	
撮影可能範囲 (レンズ先端面からの距離)	[広角] 約 9cm ~ ∞、[望遠] 約 1.0m ~ ∞	
撮影感度	ISO 100 ~ 12800 (1 段 ステ ッ プ)、AUTO*、AUTO (1600)、 AUTO (800)、AUTO (400) *AUTO は AUTO (1600)、AUTO (800)、AUTO (400) が設定で きないときのみ	
測光方式	<ul style="list-style-type: none"> • TTL256分割測光 • マルチ 	
露出制御	プログラム AE	
露出補正	-2EV ~ +2EV (1/3段ステップ)	
シャッタースピード (メカニカルシャッター 併用)	<ul style="list-style-type: none"> • 、P、、、、、、、、、、、、、、、、、、、 • 、*、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	

システム

フォーカス

- **モード**：オートエリア、エリア選択、自動追尾
- **AF方式**：TTL コントラスト AF
- **動画フォーカスモード**：コンティニューアス AF、シングル AF

ホワイトバランス

AUTO、晴れ、日陰、蛍光灯 1、蛍光灯 2、蛍光灯 3、電球、水中

セルフタイマー

OFF、2秒、10秒、フェイスオートシャッター、スマイル、カップル、グループ

フラッシュ

- **方式**：オートフラッシュ
- **撮影可能範囲（感度：AUTO時）**：
[広角] 約 30 cm～約 4.4 m、[望遠] 約 1.0 m～約 3.8 m

フラッシュ発光モード

- **赤目補正 OFF時**：AUTO、強制発光、発光禁止、スローシンクロ
- **赤目補正 ON時**：赤目軽減 AUTO、赤目軽減+強制発光、発光禁止、赤目軽減+スローシンクロ

液晶モニター（LCD）

3.0型カラー液晶モニター 約92万ドット（視野率 約100%）

動画

- 音声付き（疑似ステレオ）

4K 2160/15P

HD 1080/59.94P

HD 1080/50P

HD 1080/24P

HD 1080/23.98P

5K HD 1080 スクエア 59.94P

5K HD 1080 スクエア 50P

5K HD 1080 スクエア 24P

5K HD 1080 スクエア 23.98P

HD 720/59.94P

HD 720/50P

HD 720/24P

HD 720/23.98P

5K HD 720 スクエア 59.94P

5K HD 720 スクエア 50P

5K HD 720 スクエア 24P

5K HD 720 スクエア 23.98P

- 音声なし HD ハイスピード動画

1.6 × [] 59.94P 🎧 100P

2 × [] 50P 🎧 100P

3.3 × [] 29.97P 🎧 100P

4 × [] 25P 🎧 100P

入出力端子	
デジタル入出力	マイクロ USB 端子 (Micro-B) USB2.0 High-Speed、MTP/PTP 接続
HDMI 出力	HDMI マイクロ端子 (Type D)
電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-45S (付属)
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	109.6mm × 71.0mm × 27.8mm* * 突起部含まず
本体質量	約 190.6g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)
撮影時質量	約 207.4g (付属バッテリー、メモリーカード含む)
動作環境	<ul style="list-style-type: none">• 温度：-10℃～+40℃• 湿度：10%～80% (結露しないこと)

電源部、その他

バッテリー作動可能
枚数 / 時間の目安

- **バッテリー**：NP-45S
- **撮影モード**：Pモード

通常時の静止画撮影枚数

約 240 枚

1回の充電で撮影できる合計動画時間

画質	実撮影電池寿命	連続撮影電池寿命
4K	約 42 分	約 73 分
FHD*	約 40 分	約 54 分

* フレームレート 59.94fps の場合

CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。

- **注意**：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数や時間の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数や時間を保証するものではありません。低温時では、バッテリー作動可能枚数は少なくなり、時間は短くなります。

ワイヤレス通信

無線 LAN (Wi-Fi)

準拠規格	IEEE802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	• 日本、中国 ：2412MHz ~ 2472MHz (13ch) • 上記以外の国 ：2412MHz ~ 2462MHz (11ch)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード*

Bluetooth®

準拠規格	Bluetooth Ver.4.1 (Bluetooth low energy)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402MHz ~ 2480MHz

バッテリー NP-45S

公称電圧	3.7V
公称容量	740mAh
使用温度	0℃～+ 40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	31.4mm × 39.5mm × 5.8mm
質量	約 19g

AC パワーアダプター AC-5VG

定格入力	AC 100V～240V 50/60Hz
入力容量	10.5 VA (100 V) 11.9 VA (240 V)
定格出力	DC5.0V 1000 mA
使用温度	0℃～+ 40℃
質量 (本体のみ)	約 26g ± 15%



質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。



仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

【英数字】

4K 連写、46
Adv. (アドバンストフィルター)、38
AE/AF ロック、50
AF ロック、50
AF 補助光、59
Bluetooth 設定、98
CAL.S、43
DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン、7, 72, 73
DPOF 指定、88
Fn (ファンクション) ボタン、3, 102
FINEPIX カラー、62
FUJIFILM Camera Remote、21, 69, 76, 98, 107, 115
FUJIFILM PC AutoSave、86, 109, 115
FUJIFILM instax SHARE、89, 99, 104, 113
HDMI、105
HDMI ケーブル、105
HDR 撮影、48
HD ハイスピード動画、67
instax プリンター接続設定、99, 113
instax プリンタープリント、89, 114
ISO 感度、60
LCD (液晶モニター)、5
LCD 明るさ、7, 93
LCD 鮮やかさ、7, 93
MENU/OK ボタン、10, 57, 75, 90
MyFinePix Studio、86, 110, 115

PC 保存、86, 99
SD/SDHC/SDXC メモリーカード、15
USB ケーブル、17, 110

【あ】

赤目補正、65, 84
アフターサービス (修理)、157
アドバンスト SR オート、25, 36
アドバンストフィルター、38
位置情報、98, 100
インターバルタイマー撮影、63
オートパワーオフ (自動電源 OFF)、95
オプション品 (別売アクセサリ)、104
お手入れについて、129
オート (フラッシュモード)、51
音設定、92

【か】

海外で使うとき、125
顔検出 / 瞳 AF 設定、58
画質モード、62
風音低減、67
画像回転、83
画像コピー、87
画像サイズ、61
画像転送予約、75
カップルタイマー撮影、55
画面のカスタマイズ、8, 94
感度、60

強制発光、51
共通設定、100
記録画素数、147
グループタイマー撮影、56
言語、23, 91
工場出荷時 (リセット)、91
コマ NO. (コマナンバー)、96
コンテンツアス AF、67

【さ】

再生音量、92
再生時の表示画面、71
再生ズーム、74
再生方法、73
再生メニュー、v, 75
撮影画像表示、93
撮影時の表示画面、5
撮影メニュー、iv, 57
撮影モード、34
シーン選択、57
自動電源 OFF (オートパワーオフ)、95
シャッター音、92
シャッター音量、92
シャッタースピード、43, 148
消去、28, 78
消費電力設定、95
情報表示、100
情報表示の切り替え、7, 72
初期設定、21
シングル AF、67
スクエアモード (1:1)、61, 103

スタンダード画面、7, 8
ストラップ、11
スマートフォン、69, 76, 98, 107
スマイル撮影、55
スライドショー、84
スローシンクロ、51
静止画 (再生)、27
静止画 (撮影)、25
世界時計、90
接続設定、98
セットアップメニュー、v, 90
セルフタイマー、53, 62
セレクターボタン、3
操作音量、92

【た】

タイムラプス動画モード、63, 64
多重露出撮影、37
縦横自動回転再生、94
超解像ズーム、70
デジカメプリント、88
手ブレ、68
テレビ接続 (HDMI 出力)、105
電源、19
電子音&フラッシュ、91
電子式手ブレ補正、68
電子水準器、9
動画加工、80
動画カット、80
動画再生、32
動画撮影、29

動画設定、31,66

動画モード、66

動画連結、81

トリミング、82

[な]

日時設定 / 日時変更、23,90

[は]

ハイパフォーマンス、95

パソコン接続、110

発光禁止、51

バッテリー、12,16,20

花火、43

パノラマ、40

ピクチャーサーチ、77

日付書き込み、97

表示設定、93

表示比率、89

標準撮影枚数 / 記録時間、146

ファームウェア更新情報、ii,130

ファームウェアバージョン、130

ファンクション (Fn) 設定、95,103

ファンクションボタン、3,102

フェイスオートシャッター、54

フォーカス設定、57

フォーカスモード、49,57,67

フォーマット (初期化)、101

フォトブックアシスト、85

付属品、xiv

物体検出、36

フラッシュ、51,65

フラッシュ設定、65

フラッシュ調光補正、65

フラッシュモード、51,65

プリント予約 (DPOF)、88

フレーミングガイド、94

プレゼントアイコン、27

プレ防止モード、68

プロテクト、83

ペアリング、21,98,108

別売アクセサリ、104

保存設定、96

ホワイトバランス、52,65

[ま]

マルチ再生、74

無線通信、107

銘板プレート、2

メモリーカード、12

[ら]

リサイズ、82

リセット、91

リリース操作、60

連写切替ボタン、4

連写 (連続撮影)、45

露出補正、44

[わ]

ワイヤレス設定初期化、100

ワイヤレス通信、69,76

ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 富士フィルム製品 Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/sd/> をご覧ください。

3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？
トラブルが発生する直前の操作は？
カメラの状態は？
トラブルが発生する頻度は？
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障が迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。
- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップしてください。修理に出すときには、内蔵メモリー内のデータは消してください。内部の基板交換等した場合、内蔵メモリー内のデータは保証できません。カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後7年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でおお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理依頼票

※ あらかじめ「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

※ 本紙は拡大コピーしてお使いください。

※ 下表の□は、該当する項目にチェック(✓)を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		FAX 番号	
ご住所	〒 —		
製品名 (型名)		ボディ番号 (機番) 保証書あるいは本体 底面に記載してある 8桁の番号です。 修理お問い合わせ時に ご連絡ください。	NO.
修理品への添付	<input type="checkbox"/> 保証書 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> メモリーカード	<input type="checkbox"/> バッテリー
見積	<input type="checkbox"/> 要 (修理金額	円以上見積り)	<input type="checkbox"/> 不要
見積連絡方法	<input type="checkbox"/> 電話	<input type="checkbox"/> FAX	
故障症状 (故障時の様子)			
ご購入時期	20 年 月		※保証書を添付してください。
修理履歴	<input type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 再依頼 (<input type="checkbox"/> 同一症状 <input type="checkbox"/> 別症状)		
発生状況	発生頻度	<input type="checkbox"/> 開始時のみ <input type="checkbox"/> いつも <input type="checkbox"/> 時々 (日に 回)	
	動作モード	<input type="checkbox"/> 再生時 <input type="checkbox"/> 撮影時 <input type="checkbox"/> ショックを与えると	
	他機との接続	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (接続機)	
	使用電源		

- 本製品に関するお問い合わせは… ※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター

月曜日～金曜日 9:30～17:30/土曜日、日曜日、祝日 10:00～17:00（年末年始を除く）

TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

- 本製品の関連情報は… ※弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> の自己解決に役立つ「Q&A検索」もご利用ください。

■修理サービスQ&A

修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html>

■修理料金のご案内

当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を確認できます。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/estimate/index.html>

- 修理の受付は… ※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口 富士フイルム修理サービスセンター

月曜日～金曜日 9:30～17:30/土曜日 10:00～17:00（年末年始を除く）

TEL 050-3786-1040

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■修理品ご送付受付窓口 富士フイルム修理サービスセンター

〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1/TEL: 050-3786-1040

▶全国どこからでも【引き取り修理サービス】引き取りからお届けまでお任せ修理

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/quick/index.html>

▶お近くのサービスステーション【サービスステーション一覧】

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html>

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/>

または上記の<修理ご相談受付窓口>にてご確認ください。

- 本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは… お客様コミュニケーションセンター

TEL 050-3786-1711（月曜日～金曜日 9:30～17:30 ※土・日・祝日・年末年始を除く）

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

http://www.fujifilm.com/products/digital_cameras/index.html



Exif Print

